

9. 訪問講義

9-1 概要

訪問講義は一般財団法人福祉教育支援協会とともに医療ケアの必要な重度障害者向けの学習支援を行っている東京都小平市のNPO法人地域ケアさぼーと研究所（飯野順子理事長）とともに行うことし、対象者を東京都内の4人、年間を通じた学習を記録しながら有効な学習内容・講義内容を検討し今後の普及の基礎とすることとした。

受講者は以下の4人である。

- ・佐藤友哉さん（NPO法人ケアサポート研究所、担当：下川和洋）
- ・増田厚子さん（同、担当：阿部晴美）
- ・山本利恵さん（同、担当：溝井勝広、宍戸芳子）
- ・岩村和斗さん（シャローム大学校、担当：引地達也）



佐藤友哉さん



増田厚子さん



山本利恵さん



岩村和斗さん

本講義に際しコーディネーターの引地が受講者のいる医療機関や自宅を訪問し、直接事業の概要を説明し協力をお願いし、合わせて学びたいことなどのヒアリングを行った。紹介及びヒアリングに以下のパワーポイントを使った。

この訪問は、

文部科学省の障がい者の生涯学習に関する委託研究
「特別支学校高等部卒業生及び学びを必要とする障害者を中心に
対象とした若者の学びを展開するための学習プログラムの開発事業」として、
授業の内容や感想を報告させていただきます。

→

授業の感想を聞いて、今後の授業や全国の同じような要望のある人に向けて、授業ができるように提案していきます。

訪問学習についての質問

- 1 今まで一番楽しかった授業は何ですか
- 2 今、取り組んでいて楽しい授業は何ですか
- 3 今までで苦手だった授業はありますか
- 4 これからやりたい授業は何ですか
- 5 1週間にどのくらい授業の時間がほしいですか

訪問学習についての質問に対する回答

佐藤友哉さん

- 1 音楽ソフトで作曲をすることです
- 2 作曲や国のことを知ること
- 3 ありません
- 4 聖火リレーに出たいです
- 5 1回ぐらいがいいです

増田厚子さん

- 1 英語や音を聞くことです
- 2 ミシンを使った作業と英語です
- 3 ありません
- 4 英語がやりたいです
- 5 同じくらいのペースで勉強がしたいです

山本利恵さん

- 1 物語を読むことです
- 2 詩をつくること
- 3 ありません
- 4 源氏物語をやりたいです
- 5 同じくらい勉強したい

岩村和斗さん

- 1 沖縄に行ったこと
- 2 いろいろな国のことを知ること
- 3 なし
- 4 社会
- 5 2時間ぐらい

9-2 受講者の記録

(1) 佐藤友哉さん(東京都・国立精神・神経医療研究センター)

■訪問講義及び学習報告書


受講者： 佐藤友哉さん

担当者：

下川和洋



実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2019年7月22日(月)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②国語②(電子絵本づくり) ③国語①(わいわい文庫の本選択とあらすじと感想)
本授業のねらい	①学習項目(国語、美術、音楽、情報)から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。 ②電子絵本づくりを通して、国語(文章の構成力)、合成音声とパワーポイント(情報機器の活用)、美術(挿絵作成)の内容を総合的にまとめる力を育てる。 ③デジ図書(公益財団法人伊藤忠記念財団作成のわいわい文庫)を読んで、書かれていた内容のあらすじをまとめるとともに感想文を書き、まとめる力、表現する力を育てる。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。 ②パワーポイントで作成したオリジナルの絵本に書かれた文書を合成音声で出力して、音声を録音してページに貼り付ける作業。 ③宿題にしていたわいわい文庫(デジ図書)「宇宙や世界を冒険した人の伝記」のコロンブスのあらすじと感想宿題を確認。また、誤字の訂正方法として文字列置換の方法を教える。
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレートナビ、ビエゾニューマティクセンサースイッチ(PPSスイッチ)、audacityソフト ②公益財団法人伊藤忠記念財団作成のわいわい文庫

<p>受講者の反応</p>	<p>①時間経過に沿ってご自身が十二指腸炎になったこと、今後の外泊予定等説明を行った。</p> <p>②HOYA 音声合成ソフト（Web上のソフト）で発声させ、録音・編集ソフト audacityで録音・編集を行う。一連の流れを徐々に一人でできるようになってきた。</p> <p>③宿題にしていた、わいわい文庫（デジタル図書）の内容のまとめはほぼ完璧にまとめるとともに、感想を書くことができた。</p>	
<p>所見</p>	<p>合成音声パソコンで録音して不要部分を削除するなど、音声録音・編集ソフトの操作スキルが伸びてきた。</p>	

受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋
 実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2019年9月2日(月)

<p>講義及び学習項目</p>	<p>①はじまりの会 ②行事への参加についての相談 ③Facebook への入力</p>	
<p>本授業のねらい</p>	<p>①学習項目（国語、美術、音楽、情報）から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。 ②Facebook の投稿を通じて、話や写真などを使って考えてまとめて表現する力を育てるとともに、情報リテラシーを高める。</p>	
<p>講義及び学習内容</p>	<p>①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。今年度の行事参加について話し合う。 ②Facebook へ写真と文章を投稿する。</p>	
<p>配布・活用した教材</p>	<p>①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティックセンサースイッチ（PPSスイッチ）</p>	
<p>受講者の学習の様子</p>	<p>①夏季休業中のできごとをまとめて発表する。内容は以下の3点。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・8/10-12 外泊では、吉祥寺の美術館で鑑賞。家では紹興酒とハイボールを飲んだ。 ・8/26 に上野動物園に行ってきた。今年はわりと涼しくて良かった。パンダやハシビロコウやキリン、シマウマ、フラミンゴ、ペンギン、猿、去年よりも見られた。 ・聖火リレーに応募した。発表は9月に順番に連絡が来る。 <p>②行事の参加の相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月の訪問カレッジ文化フェスタは参加。発表をしたい。 ・2月の生涯学習コンファレンスは入浴日のため難しい。スカイプ参加を提案していく。 <p>③Facebook に投稿する。あらかじめ投稿したい写真を選定し、Word で文書作成を行った上で、コピー&ペーストでFacebook 上にまとめていった。</p>	 
<p>所見</p>	<p>オペレートナビの文書入力に時間がかかる。予測変換により入力速度を速めることを試みるが、あまり効率があがらない。今後、事前に文書だけ入力して、授業中は文書推敲に時間を使うなどの方法で対応する方法も選択肢の一つとして考える。</p>	

受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋
 実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2019年9月30日(月)

<p>講義及び学習項目</p>	<p>①はじまりの会 ②わいわい文庫の活用術の原稿作成 ③訪問カレッジ文化フェスタに向けた準備</p>	
<p>本授業のねらい</p>	<p>①学習項目（国語、美術、音楽、情報）から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。 ②原稿作成や行事で発表する内容を相談して決めていくことで、物事の予定や内容などの構成力を育てる。</p>	
<p>講義及び学習内容</p>	<p>①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。 ②わいわい文庫の活用術の原稿作成 ③訪問カレッジ文化フェスタに向けた準備</p>	
<p>配布・活用した教材</p>	<p>①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティクセンサースイッチ（P P Sスイッチ）</p>	

受講者の学習の様子	<p>①はじまりの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事：11/10 文化フェスタ案内のデータを知り合いに広めるため渡す。オリンピックのチケットはとれず。聖火リレーはこれから。9月に入って右目がずっと赤く痛く治らない。 ・11/11・15 が指導室で「みんなの作品展」が開催。 ・下川からは東京新聞の記事の紹介。 ・本日の予定：国語①、文化フェスタ自己紹介スライド、文化フェスタの発表内容の検討 <p>②国語③（※わいわい文庫活用原稿 12月15日締め切り）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己紹介文の宿題チェック。わいわい文庫をオペレートナビで操作中の画面撮影（スクリーンショット）。 2) 宿題：Dropbox 同期フォルダで確認していく <p>③文化フェスタの自己紹介スライド作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学習：2枚のスライドを作ることにして写真を選択して貼り付ける。画像の変更機能を紹介。 2) 宿題：残りのスライドの作成 <p>④文化フェスタの発表内容の相談：実際に練習できるのはあと一回しかないことが判明。パワーポイント作成オリジナル電子絵本の発表。12ページまでは下川、13ページからの合成音声を宿題。当日の発表はiPadでできるようにする。</p>
所見	<p>訪問カレッジ文化フェスタが11月10日開催で、準備が10月28日の1回だけになった。ネットを使った遠隔指導なども含めて、本人ひとりで行わなければならない課題が多くなったが、本人からも質問して課題を十分理解して臨もうという姿勢が見られた。</p>

受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋	
実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2019年10月28日(月)	
講義及び学習項目	<p>①はじまりの会</p> <p>②訪問カレッジ文化フェスタに向けた準備</p> <p>③わいわい文庫活用術の原稿作成</p>
本授業のねらい	<p>①学習項目（国語、美術、音楽、情報）から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。</p> <p>②原稿作成や行事で発表する内容を相談して決めていくことで、物事の前日や内容などの構成力を育てる。</p>
講義及び学習内容	<p>①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を定める。</p> <p>②訪問カレッジ文化フェスタに向けた準備</p> <p>③わいわい文庫の活用術の原稿作成</p>
配布・活用した教材	<p>①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティクセンサースイッチ（PPSスイッチ）</p>

受講者の学習の様子	<p>①はじまりの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と日付天気 ・遠隔操作の分身ロボット「OriHime」を使って、ハンドサッカーに参加するための打合せ。 ・最近の出来事：10/17 病棟遠足で競馬博物館に行った。10/20は六本木の新美術館（学芸大学大学院の茅野さんの作品等を見た。）へ行った。 ・本日の予定：文化フェスタ学習発表の練習、自己紹介スライドの作成、国語③「わいわい文庫活用術」原稿作成 <p>②文化フェスタの学習発表の練習および自己紹介スライド作成</p> <p>1) 学習発表の練習：発表の挨拶の練習の後に、パワーポイントで作成したオリジナル電子絵本をiPadに取り込み、レシピで画面を変える操作をPPSスイッチで行う。文化フェスタ当日は本人のPPSスイッチを使用。</p> <p>2) Dropbox同期フォルダで事前に提出・チェックされたスライド原稿の加筆訂正を行う。</p> <p>③国語③「わいわい文庫活用術」原稿作成（※12月15日締切）</p> <p>1) 学習：Dropbox同期フォルダで事前に提出・チェックされたワード原稿の加筆訂正を行う。</p> <p>2) 宿題：Dropbox同期フォルダを使って原稿提出。</p>
所見	<p>訪問カレッジ文化フェスタでの学習発表用の挨拶文章を事前に自ら考えて練習していた。iPadのスイッチコントロール（レシピ）を用いた発表練習もスムーズに取り組めた。</p> <p>遠隔操作の分身ロボット「OriHime」を使ったハンドサッカーへの参加は、本人が楽しみにしているのでは是非実現させたい。</p>

受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋
 実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2019年11月11日(月)

講義及び学習項目	<p>①はじまりの会</p> <p>②Facebookを用いて訪問カレッジ文化フェスタの反省</p> <p>③センター指導科主催「みんなの作品展」の参観</p>
本授業のねらい	<p>①学習項目（国語、美術、音楽、情報）から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。</p> <p>②Facebookを用いて訪問カレッジ文化フェスタで発表した内容のまとめや反省の文書作成を通じて文書作成・構成力やSNSスキルを身につける。</p>

	③電動車いす操作の向上と iPad のスイッチを用いた写真撮影の操作を学ぶ。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。 ②Facebook の活用 ③「みんなの作品展」の参観
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティクセンサースイッチ（PPSスイッチ）、iPad、Bluetooth スイッチ
受講者の学習の様子	①はじまりの会 ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事：昨日の文化フェスタのビデオを見て、発表等の反省を行う。わいわい文庫の原稿は DropBox を通じて事前に提出していたので、今後提出に向けた推敲を行う。 ・本日の予定：Facebook、作品展の見学 ②Facebook：NPO が管理している Facebook のシェアを学び、コメントの入れ方を学ぶ ③「みんなの作品展」の参観：センター内を散歩して作品展の見学。写真撮影を Bluetooth スイッチで行う方法を学ぶ。今回の写真を用いて、次回の学習では Facebook のアップを行う。 ④終わります
所見	訪問カレッジ文化フェスタでの発表は、自身の発表内容に対する満足度が高かっただけでなく、オリジナル絵本や電動車いす操作を他の学生に見せたことで、他の学生に良い影響を与えたという周囲からの評価を受けた。これにより、自己効力感を高めることができたようである。 また、本日のスイッチを用いた写真撮影は、電動車いすのスイッチ操作に続いて、自分の力で取り組めた経験であり、「おもしろかった」という感想が何度も聞かれた。



受講者：	佐藤友哉さん	担当者：	下川和洋
実施場所	国立精神・神経医療研究センター	2階南病棟	実施日 2019年11月18日(月)
講義及び学習項目	①はじまりの会 ②わいわい文庫活用術原稿 ③添付メールの操作方法と Facebook に写真のアップ		
本授業のねらい	①学習項目（国語、美術、音楽、情報）から本日で学習する学習項目		

	<p>を選択・決定する力を育てる。</p> <p>②本 の 原稿 づくり を 通 じ て 文 書 作 成 ・ 構 成 力 の 向 上 を 図 る。</p> <p>③メール及びFacebook の SNS スキル を 身 に つ け る。</p>
講義及び学習内容	<p>①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。</p> <p>②わいわい文庫活用術原稿の推敲と完成。</p> <p>③メール及びFacebook の操作を学ぶ。</p>
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレータナビ、ビエゾニューマティクセンサースイッチ（PPSスイッチ）
受講者の学習の様子	<p>①はじまりの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事：先週の木曜日に岡田先生授業があり、友哉君が発表したオリジナル絵本を見たいと言われた。「メールで送りたいのでどうやったら送れるか教えて欲しい」とのこと。オリンピックのバドミントンチケットを昨日応募した。12月20日頃に結果がわかる。 ・下川からの報告： <ol style="list-style-type: none"> 1) ジアース教育新社から刊行された。 2) 2019年11月23日のハンドサッカーへの参加。 3) 2019年11月30日にイオンモールむさし村山のイベント。 4) 2020年2月14日「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」。スカイプで参加したい。 <p>②国語③（※わいわい文庫活用術原稿）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Windows のワードで読み上げ機能を使っての、文章の確認と推敲。 ③メール操作の学習 添付メールで送信できた。 ④Facebook：「みんなの作品展」のアップ。右図。 ⑤終わります
所見	<p>「パワーポイントの作品をメールで送りたいのでどうやったら送れるか教えて欲しい」と本人から自発的に学びたい内容を伝えてくれたのは、特筆すべき出来事。</p> <p>わいわい文庫活用術の原稿が完成。文章を読んで、本人の文書内容・構成力などの向上に母は大変喜んでた。</p>




受講者：	佐藤友哉さん	担当者：	下川和洋
実施場所	国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2019年11月25日(月)		
講義及び学習項目	①はじまりの会		

	<p>②わいわい文庫活用術原稿</p> <p>③添付メールの操作方法と Facebook に写真のアップ</p>
本授業のねらい	<p>①学習項目（国語、美術、音楽、情報）から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。</p> <p>②Facebook の SNS スキルを身につける。</p>
講義及び学習内容	<p>①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。</p> <p>②Facebook の操作を学ぶ。</p>
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティクセンサースイッチ（PPSスイッチ）
受講者の学習の様子	<p>①はじめの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事： <p>1) ジアース教育新社から「肢体不自由教育における子ども主体の子どもが輝く授業づくり3」が発刊。コピーを渡す。</p> <p>2) 2019年11月23日のハンドサッカーについての報告。今回は動画も撮影したので Facebook に載せたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の予定：Facebook、音楽 <p>②Facebook：ハンドサッカー体験会での様子をアップする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章作成、写真、動画のアップ。動画は拡張子の変更が必要で、説明してアップできた。 ・OriHime は i+Pad タッチャーを使って操作した。自分でより多く操作できるように、スイッチコントロールを使った操作方法を学んでもらった。 <p>③終わります</p>
所見	<p>ハンドサッカーの体験会に参加できたことは、日頃スポーツ観戦を趣味にしている本人にとって、大変な喜びになり、自己肯定感（自尊感情）を高めたようである。例えば、Facebook に文章と動画をアップしたいと、自分から積極的に発言があり、とても積極的になってきている。</p> <p>尚、従来 WindowsPC をオペレートナビで操作する方法だけを教えてきたが、今後は iPad の使い方も教える必要が出てきた。</p>



受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋
 実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2019年12月16日(月)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②パソコンの設定を一緒に行う ③Facebook に近況報告
本授業のねらい	①パソコンへのアプリのダウンロードからインストールまでの作業を学ぶ。 ②Facebook の SNS スキルを身につける。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。 ②パソコンへのアプリのダウンロードからインストールまでの作業を学ぶ。 ③Facebook の操作を学ぶ。
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティクセンサースイッチ (P P S スイッチ)
受講者の学習の様子	①はじまりの会 ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事： ・先週火曜からお腹の調子が悪くなり、水曜日の夜に血を吐いたので点滴対応。昨日から注入が再開。 ・新しいパソコンに変更したので、再設定をした。 ・本日の予定：新しいパソコンの設定 ②パソコンの設定を一緒に行う ・スカイプの設定 ・ドロップボックス ・Studio fun Score Editor ・Facebook ③コンファレンスの資料確認 ④Facebook で近況報告：従来はワードに入力して Web 上の Facebook にコピーしていたが、今回  佐藤友哉 46分前・♂ ... Facebook アプリを導入したことで直接入力できるようになった。 ⑤終わります 私は、12月12日(木)にパソコンをWINDOWS 7から10に切り替えました！ 前のパソコンに比べ、テレビがとてもきれいな画面で見れたり、文章をはやく入力したりでき、すごく使いやすいです。
所見	先週、体調を崩してどんな状態だったかを経時的に詳細に伝えてくれた。健康状態に対して医療者に十分伝わる能力があることがよく分かった。

	パソコンを新調した機会に、アプリのインストールなど作業を体験してもらったことは、良い経験になったと思う。
--	--

受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋
 実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2019年12月23日(月)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②Facebook の使い方
本授業のねらい	①オペレートナビのスキルを身につける（ペイントソフト使用）。 ②Facebook の SNS スキルを身につける。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。 ②ペイントソフトで友哉さんが選ぶ「今年の漢字」を描く。 ③Facebook の操作を学ぶ。
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティクセンサースイッチ（PPSスイッチ）
受講者の学習の様子	①はじまりの会 ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事： 岡田先生が振替で授業に来てくれたが、パソコンからアプリが消えていた。今度インストールして欲しい。 23歳だから自分からプレゼントは頼まない。もし、サンタが来てくれたら嬉しい。12/31-1/2に外泊予定。紅白を見て、電車で氷川神社に初詣に行く。 ・本日の予定：Facebook で今年の漢字 ②Facebook ・ペイントを用いて友哉さんの考える今年の漢字を描く：「体」を考え出したが、字を思い出せないため、下川がiPadに描いて見せた。それを参照して本人が字を書いた ・Facebook にアップして、今年の漢字に選んだ理由の説明を行う：「私が選んだ今年の漢字は、体です。この漢字を選んだ理由は、今年の夏ごろにおなかの調子を崩してしまい、その後から目の調子が悪くなるなど、体の調子を崩すことが多かったため、この漢字を選びました。来年は、身体に気を付け、健康で元気に過ごしたいです。」 ③終わりのあいさつ

所見	ペイントソフトで字を描いて、それをFacebook にアップロードする方法を身につけた。今後作品の場としてFacebook を活用していけると良い。
----	--

受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋
 実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2020年1月20日(月)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②Facebook の使い方
本授業のねらい	①オペレートナビのスキルを身につける（ペイントソフト使用）。 ②Facebook の SNS スキルを身につける。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。 ②ペイントソフトで書き初め「今年の夢」を描く。 ③Facebook の操作を学ぶ。
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティクセンサースイッチ（PPSスイッチ）
受講者の学習の様子	<p>①はじまりの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事：12/31-1/2 外泊した。大晦日はリアルタイムで紅白歌合戦を見て、パブリカやディズニーの曲、嵐の歌が印象的だった。1/1 は電車で東伏見の水川神社に初詣。おみくじは小吉。写真は日本酒を飲んだところ。 ・本日の予定：Facebook。前のデータを新しいパソコンにコピー。書き初め「今年の夢」 <p>②Facebook：お正月外泊の記録。</p> <p>③IC レコーダーの操作アプリのインストール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページから最新のアプリをダウンロードして、インストールする一連の作業を学ぶ。 <p>④美術 テーマ「世界の猫」</p> <p>1) 学習：宿題「友哉」、書き初めのテーマは「今年の夢」で、「聖火リレー」にした。聖火リレーが外れたので、当時は外出し、近所を走る聖火リレーを見て、家で休んで病院に帰る。書いたものをFacebook にアップ。</p>

佐藤友哉
1日前・私

今年もよろしくお願ひします。
 私は、2019年12月31日(大晦日)から2020年1月2日までの2泊3日で外泊をしてきました！
 外泊では、2日目の1月1日(元旦)に電車で東伏見という駅にある水川神社へ初詣に行つて来ました。初詣でお詣りをしたり、おみくじを引いたりしました。今年は、小吉でした。小吉が出たときは、少し残念でしたが...もっと見る



佐藤友哉
10分前・私

私の今年の抱負は、東京オリンピックの聖火リレーを見学しに行くことです。

聖火リレー

	2) 宿題：冬にちなんだ言葉を考えて作成する。 ⑤終わります
所見	「聖火リレー」は本人が選択した。見本を見せながら描いた。聖火の聖の口の字が最初は異様に大きく書かれていたが、パーツのサイズ変更で一緒に対応した。

受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋
 実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2020年1月27日(月)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②行事：文部科学省「共に学び生きる共生社会コンファレンス」の発表打合せと練習
本授業のねらい	①オペレートナビのスキルを身につける（パソコン操作）。 ②文部科学省コンファレンスへの心構えと準備。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。 ②文部科学省のコンファレンスの事前練習。
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレートナビ、ビエゾニューマティクセンサースイッチ（PPSスイッチ）
受講者の学習の様子	<p>①はじまりの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事：①先週木曜日に病棟で成人式に参加。②宿題作品を作ったがうまく開けなかった。パソコンが変わって図形編集がペイントソフトではなく別になっていたので設定を直す。 ・本日の予定：コンファレンスの打ち合わせ、音楽、時間があれば美術の作品を完成させる。 <p>②コンファレンスの打ち合わせ</p> <p>1) 当日のスケジュールの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂を出て処置後の14:40～。 ・母がSkypeを使って撮影（発表作品を起動済み状態） ・下川から訪問カレッジ概要紹介 ・本人から：自己紹介、作品紹介 ・質問：①下川質問（今年の夢）②会場からの質問 <p>2) 予行演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の流れで予行演習




	<ul style="list-style-type: none"> ・Skype と音楽ソフトは同時に音を出せないのが判明。当日は母のスマホで撮影していただくことに変更。 ・来週母親を交えて 15:00 から練習する。 ・当日は 13:00、母（自宅）と会場で直前の動作確認を行う。 ・宿題：本人はお話内容と画面操作の練習、母はスマホに Skype を設定。Skype が難しい場合、iPhone なので FaceTime の利用も可能。 <p>②終わります</p>
所見	本人が発表内容や作品の選定をしたり、母を交えて練習したり、主体的に取り組めた。

受講者： 佐藤友哉さん 担当者： 下川和洋

実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2 階南病棟 実施日 2020 年 2 月 3 日（月）

講義及び学習項目	<p>①はじまりの会</p> <p>②行事：文部科学省「共に学び生きる共生社会コンファレンス」の発表打合せと練習</p>
本授業のねらい	<p>①オペレートナビのスキルを身につける（パソコン操作）。</p> <p>②文部科学省カンファレンスへの心構えと準備。</p>
講義及び学習内容	<p>①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。</p> <p>②文部科学省のカンファレンスの事前練習。</p>
配布・活用した教材	①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティクセンサースイッチ（PPS スイッチ）
受講者の学習の様子	<p>①はじまりの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事：美術を教えてもらっている東京学芸大学大学院生の卒業制作展に先週土曜日に行って来た。今回、芸術館が工事のため、別の場所で行われた。エレベーターが無いために 1 階のフロアしか見られなかったのが残念だった。 ・「カンファレンスの発表の時にパソコンに 3 画面出したけど、いろいろやって見て、オペナビで切り替えることができたので、そのやり方でやりたい。」と本人から提案があり、了承。 ・本日の予定：2/14 のカンファレンスに向けた練習。 <p>②カンファレンスの予行演習</p> <p>1) 当日のスケジュールの確認（発表時間午後 2:40～3:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風呂で処置・準備は 2:40 までに行い Skype 接続は本番 2:45。 ・下川から訪問カレッジ概要紹介（DVD 4 分） ・お母さんが Skype を使って撮影（発表作品を起動済み状態） <ul style="list-style-type: none"> ・本人から：自己紹介、作品紹介 ・質問：今年の夢を発表してください。 ・会場から質問コーナー

	<p>2) 予行演習 ・発表の流れで予行演習 ③終わります</p> 
所見	<p>本人は、「当日に向けてぼっち」と自信に満ちた発言。一方カメラマンをしていただく母はお父さんに当日の協力を取り付けていた。</p>

受講者： 佐藤友哉さん

担当者： 下川和洋

実施場所 国立精神・神経医療研究センター 2階南病棟 実施日 2020年2月17日(月)

講義及び学習項目	<p>①はじまりの会 ②行事：文部科学省「共に学び生きる共生社会コンファレンス」の振り返り ③音楽</p>
本授業のねらい	<p>①オペレートナビのスキルを身につける（パソコン操作）。 ②文部科学省カンファレンスを振り返り、表現意欲を高める。</p>
講義及び学習内容	<p>①挨拶・日付と天気の確認。最近の出来事をまとめて伝える。本日の学習内容を決める。 ②文部科学省の振り返り ③音楽：音楽ソフトにより自作曲の発表と次の課題の選定。</p>
配布・活用した教材	<p>①Windows パソコン、オペレートナビ、ピエゾニューマティックセンサースイッチ（PPSスイッチ）</p>
受講者の学習の様子	<p>①はじまりの会 ・挨拶と日付天気 ・最近の出来事：先週金曜日のコンファレンスでの本人発表を父親が撮影したVTRの視聴。会場の写真を見たあと、Googleマップで会場の様子を確認。業者のビデオができれば見られるように引地さんに依頼する。</p>

	<p>・本日の予定：音楽、絵本作り。</p> <p>②音楽</p> <p>1) 学習：秋の歌「小さい秋見つけた」ベースのオリジナル曲のタイトルは「おなかの調子を崩していた7月」にした。新曲はパブリカにして Snipping Tool の使い方を教えた。</p> <p>2) 宿題：「パブリカ」の楽譜入力。</p> <p>③終わります</p> <p>※2/14 のコンファレンスの謝金進呈</p>
所見	<p>これまで楽譜の写譜は 16 小節程度がほとんどであったが、今回は自分から「童謡ではないものを選びたい」と希望が出された。パブリカの曲を選び、60 小節とこれまでで最も長い曲の入力に自らチャレンジしようという意欲を高く評価したい。</p>



(2) 増田厚子さん (東京都・東部医療センター)

■訪問講義及び学習報告書

受講者： 増田厚子さん 担当者： 阿部晴美

実施場所 東部療育センター 2階南病棟 実施日 2019年7月02日(火)

講義及び学習項目	<p>①はじまりの会</p> <p>②国語 (短冊づくり)</p> <p>③2 学期の学習を考える</p>
本授業のねらい	<p>①学習項目 (国語、美術、数学、英語) から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。</p> <p>②短冊づくりを通して、国語 (いとこの名前と文字の理解)、美術 (構図を考える) の内容を総合的にまとめる力を育てる。</p> <p>③2 学期の学習内容を考えることによって学習に対する意欲、学習内容を企画構成する力を育てる。</p>
講義及び学習内容	<p>①挨拶・日付と天気の確認。本日の学習内容を決める。</p> <p>②短冊に書く言葉とどんな方法で描くのかを考え、使用する物品を考えて制作する。</p> <p>③考えた学習内容を分かりやすい言葉で伝える。</p>
配布・活用した教材	<p>①色画用紙、色紙、のり</p>

	②特になし
受講者の反応	<p>①前回のどのような短冊を作るのか考えておくように伝えておいたので、意欲的だった。</p> <p>②短冊にはいとこの名前をちぎった色紙で描きたいと伝えることができた。色紙や台紙の色画用紙の色の選択、いとこの名前をどの順番でどこに貼るのかは、本人が考えて伝える。その意図に沿って色紙をちぎることと貼ることは支援した。一人一人のいとこの名前を伝えながら、そのいとこのエピソードを思い出すかのように遠くを見つめながら貼る場所や色紙の色を伝えることができた。なかなか名前を聞き取ることが難しくなる場面では、少しイライラすることがあったが、出来上がるととても嬉しそうに、自分のベッドに飾ると言っていた。</p> <p>③英語とお金の学習はすぐに答え、他は、作ることをやりたいとのことだった。どんなものを作りたいのかはすぐには考えられなかったもので、考えておくとのことだった。</p>
所見	このところ学習に対する意欲がないことがあり、聞き取ると、生活の中で「よくないことが起こる」のではないかという漠然とした不安感を感じているようだ。

受講者： 増田厚子さん 担当者： 阿部晴美
 実施場所 東部療育センター 2階南病棟 実施日 2019年8月27日(火)

講義及び学習項目	<p>①はじまりの会</p> <p>②英語</p> <p>③家庭科</p>
本授業のねらい	<p>①2学期の学習を考える。学習項目（国語、美術、数学、英語、家庭科）を挙げ、どのように学習するかを考える。</p> <p>②英語（アプリ duoLingo 基本3の復習）he と she を正しく使う。</p> <p>③家庭科（料理のレシピづくり）（アプリ DELISH KITCHEN）大体的手順を理解する</p>
講義及び学習内容	<p>①挨拶・日付と天気の確認。2学期の学習内容を考え、何を使ってどのように学習するかを決める。シャローム大学との研究について説明をする。</p> <p>②よく使用する単語を理解する。わからないときは2～3の選択肢から正しい回答を選ぶ。</p> <p>③作りたい料理を考え、アプリの動画を見て手順に沿ってレシピ</p>

	に貼る写真を選択する。
配布・活用した教材	①特になし ②iPad、ビックスイッチ、ユニバーサルアーム、iPad タッチャー ③iPad
受講者の反応	①シャローム大学との研究に協力することは快諾してくれた。2学期の学習では家庭科の料理をやりたいことを伝えてくれた。実際には料理はできないと伝えると「iPad を使えばいい」といって、料理のレシピ集をつくることにした。そのためにはエプロンが必要だと言い、ミシンでエプロン作りをすることにした。そのほかには、英語とお金の計算とのことだった。 ②duoLingo 基本3の復習は、スムーズにでき、少し忘れていた単語があったが、意欲的には学習できた。he と she の区別も正しく使うことができた。 ③作りたいのは餃子と即答し、ずっと考えていたようだ。アプリ DELISH KITCHEN でいろいろな餃子を見せ、作りたい餃子を選択した。その動画を何回か見せ、写真にとる場面を確認し、スクリーンショットを撮ることは支援した。次回までに写真に印刷してくると伝えるととてもうれしそうだった。
所見	学習に対する意欲が元に戻り、自分でどんな学習をどのようにしてやっていくのかを考えることができたのは、とてもよかった。

受講者： 増田厚子さん 担当者： 阿部晴美
 実施場所 東部療育センター 2階南病棟 実施日 2019年9月3日(火)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②英語 ③家庭科
本授業のねらい	①2学期の学習を考える。学習項目(国語、美術、数学、英語、家庭科)を挙げ、どのように学習するかを考える。 ②英語(アプリ duoLingo 基本3と動物の復習)動詞 eat, drink を正しく使う。動物の名称を覚える ③家庭科(料理のレシピ作り)(アプリ DELISH KITCHEN) 大体的手順を理解し、写真をレシピ帳に正しく貼る。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。今日と次回の学習内容を確認する。 ②動物の単語を理解する。わからないときは2～3の選択肢から正しい回答を選ぶ。動詞 eat, drink を正しく使うことができる。 ③アプリの動画で餃子を作る手順を確認し、レシピに写真を正し

	い順番に並べることができる。
配布・活用した教材	①特になし ②iPad、ピクスイッチ、ユニバーサルアーム、iPad タッチャー ③iPad
受講者の反応	①今回の学習では、エプロンを作ることを確認し、使用する生地は今まで使った生地からフルーツの柄のもの選ぶことができた。 ②英語 アプリ duoLingo 基本3の復習は、he と she は正しく区別でき、eat、drink も正しく使うことができた。他の問題も正解できた。さらに学習したいといい、動物をやったが、動物に関する名称はほとんど覚えていた。 ③アプリ DELISH KITCHEN で前回決めた餃子の作り方の動画を数回見せ、作り方の手順を確認した。写真を見せ、肉だねの手順、皮を包む手順、焼く手順と確認したが、皮を包む手順を抜かしてしまったので、再度動画を確認し、皮を包む手順を入れてレシピ帳を作ることができた。
所見	英語の単語は、夏休みを挟んだがよく覚えている。三人称単数で動詞が変わること、複数形の理解は難しい。また、レシピ集の作成では、手順を大まかに分けて言葉で表記しておく手順が理解しやすいようだ。

受講者： 増田厚子さん

担当者： 阿部晴美

実施場所 東部療育センター 2階南病棟

実施日 2019年9月10日(火)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②英語 ③家庭科
本授業のねらい	①学習項目(英語、数学、家庭科、音楽)から本日の学習内容を選ぶ。 ②英語(アプリ duoLingo 食べ物) breakfast lunch dinner の意味と使い方が分かる。食べ物の名称を覚える ③家庭科(エプロンづくり)、6つの生地からエプロンに使いたい生地を選ぶ。合図に合わせてスイッチを操作して、ミシンを動かす。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。最近のニュースの確認。本日の学習内容を決める。シャローム大学の引地学長の参観の確認。 ②食べ物に関する単語を理解する。わからないときは2～3の選択肢から正しい回答を選ぶ。breakfast lunch dinner の意味と使

	<p>い方を知る。</p> <p>③エプロンの生地を選択。ミシンで紐を縫う。</p>
配布・活用した教材	<p>①特になし</p> <p>②iPad、ビックスイッチ、ユニバーサルアーム、iPad タッチャー</p> <p>③電動ミシン、BDアダプター、ビックスイッチ、ユニバーサルアーム、生地、糸</p>
受講者の反応	<p>①本日の学習内容は先週確認していたので、スムーズに確認することができた。また、引地先生の参観で少し緊張していた様子だが、とても意欲的に学習に取り組むことができた。</p> <p>②英語 アプリ duoLingo 初めての単語 oil「油」が食べ物とは考えにくかったようだ。朝食は breakfast ではなく lunch を選び、聞きなれている方または言いやすい方を選んでいたらようだ。イチゴ、チーズ、豚肉などの単語はすぐに英語で言うことができた。自分から名詞に a や the をつけること、動詞が変化することは、まだ難しいようだ。</p> <p>③生地はやはり、依然見せたフルーツ柄を確実に選んだ。ミシンの準備の間、好きな歌を聴き、ミシンのスイッチ操作は、「始めは1秒で止めて」というと確実に止めることができた。途中で意図がなくなったが、縫いあがって満足そうだった。</p>
所見	<p>参観者がいる方がいつもより張り切っている。引地先生がいたので、集中して取り組んでいた。最後の引地先生からの質問にもきちんと答え、これまでの作品を紹介した。</p>

そのほか：シャローム大学引地学長の参観。

受講者： 増田厚子さん 担当者： 阿部晴美
 実施場所 東部療育センター 2階南病棟 実施日 2019年9月17日(火)

講義及び学習項目	<p>①はじまりの会</p> <p>②家庭科</p> <p>③英語</p>
本授業のねらい	<p>①学習項目（英語、数学、家庭科、音楽）から本日の学習内容を選ぶ。</p> <p>②家庭科（エプロンづくり）、合図に合わせてスイッチを操作して、ミシンを動かす。縫ったベルトと裏返す。エプロンの採寸。</p> <p>③英語（アプリ duoLingo 食べ物）breakfast lunch dinner の意味と使い方が分かる。食べ物の名称を覚える</p>
講義及び学習内容	<p>①挨拶・日付と天気の確認。最近のニュースの確認。本日の学習内</p>

	<p>容を決める。</p> <p>②エプロンの生地を選択。ミシンで紐を縫う。</p> <p>③食べ物に関する単語を理解する。わからないときは2～3の選択肢から正しい回答を選ぶ。breakfast lunch dinner の意味と使い方を知る。</p>
配布・活用した教材	<p>①特になし</p> <p>②電動ミシン、BDアダプター、ビックスイッチ、ユニバーサルアーム、生地、糸</p> <p>③iPad、ビックスイッチ、ユニバーサルアーム、iPad タッチャー</p>
受講者の反応	<p>①今日はミシンでエプロンを縫うことを先にしたいと言った。</p> <p>②先週同様、ミシンのスイッチ操作はともスムーズにでき、3本の紐が縫えるととも達成感があったようだ。紐を裏返す作業でも、紐の端についた糸を手を持って引っ張ることができ、するするとひっくり返る様子を見て意外そうな表情だった。エプロンの採寸をする。上幅20cm、紐付け位置まで18cm、スカート部長さ50cmと図って覚えるようにと伝えたが、その数値は覚えていることはできなかった。その後、急に「エプロンをもう1つ作りたい」といい、病棟の誰かにプレゼントしたいとのことだった。買い物で生地を買いたいと言い出し、生地屋は近くにないことなど難しいことを何度も伝え、しぶしぶ承知した。</p> <p>③英語 アプリ duoLingo 単語 sugar 「砂糖」 plate 「皿」は覚えていなかったが、1～2回やると思い出したようだ。朝食は breakfast lunch の区別はまだ難しい湯だった</p>
所見	<p>自分のやりたいことを考えつくことはとても素晴らしいことだが、状況を考えることは、難しいようだ。また、数の記憶も苦手かもしれない。</p>

受講者： 増田厚子さん 担当者： 阿部晴美
 実施場所 東部療育センター 2階南病棟 実施日 2019年10月01日(火)

講義及び学習項目	<p>①はじまりの会</p> <p>②家庭科 エプロンづくり</p> <p>③エプロンのプレゼントの企画</p>
本授業のねらい	<p>①学習項目(国語、数学、英語)から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。</p> <p>②家庭科のエプロンづくりを通して、スイッチの操作力、集中力を育てる。作品制作の過程を理解させる。</p> <p>③エプロンを好きな人にプレゼントとすることによって学習に対する</p>

	る意欲、生地の買い方、デザインなどを企画構成する力を育てる。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。本日の学習内容を決める。 ②エプロンづくり ③エプロンのプレゼントの企画
配布・活用した教材	① ③特になし ②ミシン、糸、ハサミ、生地、ピックスイッチ、など
受講者の反応	①今日もエプロンづくりには意欲的で、英語もやろうと考えていたが、製作がしたくて仕方がない様子だった。 ②今日は身ごろの制作をする。予めしつけをかけておいた部分にミシンをかけた。始めはスイッチの位置が上過ぎたので、止まるのに時間がかかったが、位置を調整すると合図でびたつと止まることができた。2m位の長いステッチも集中力を欠かさずことなく、阿部の「押して、ちょっと止まって」など阿部の指示に従って操作できた。難しい3cm位の長さを縫う場面では、「あと5針縫ったら止まって下さい」というと、その通りに止まることができた。スイッチを押している間、ミシンの音も聞いていて、音がすると一針縫えていることを理解している。次回は使用するボタンを選ぶよう嬉しそう。自分で選ぶことが、やりがいにつながっているように感じる。 ③病棟の看護師さんへエプロンを作ってプレゼントしたいと言っていたが、その生地は、外出の時に近くのショッピングモールで買いに行くことにしたそうだ。一緒にいく人は、担当の看護師さんではなく別の介護士の男性を指名していた。
所見	プレゼント用の生地を購入は自分でしたいと言い、与えられるより自分でいろいろと考えて行動することが納得できるようだ。

受講者： 増田厚子さん

担当者： 阿部晴美

実施場所 東部療育センター 2階南病棟

実施日 2019年10月08日(火)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②家庭科 エプロンづくり ③数学 お金の計算 ④英語
本授業のねらい	①学習項目(家庭科、数学、英語)から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。 ②家庭科のエプロンづくりを通して、スイッチの操作力、集中力を育てる。作品制作の過程を理解させる。 ③エプロンの生地を買いに行くため、お金の支払い方を理解する。

	④英語は単数と複数では単語が変わるものがあることを理解する。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。本日の学習内容を定める。 ②エプロンづくり ③数学 ④英語
配布・活用した教材	①特になし ②ミシン、糸、ハサミ、生地、ビックスイッチ、など ③1000円札、100・50・10・5・1円硬貨、マグネットボード ④iPad、ビックスイッチ、タッチセンサー
受講者の反応	①学習内容は、エプロンづくり、英語、お金の計算を選ぶ。 ②先週予告していたボタン選び。大小の白いボタン、金色の大きなボタンから選ぶように伝えたと、直ぐに金色のボタンを選ぶ。生地の柄がより引き立ち、この辺りの感性は素晴らしい。もう片方のベルト付け、10針、5針でミシンを止めることができた。音で縫っている針数を数えて手操作を操作することが確実にできるようになった。 ③生地を買いに行くことを念頭に、生地が900円で、100円玉で払う方法と1000円札でお釣りをもらう方法をやる。硬貨の等価変換を復習したが、つまらなそうな表情。1000円札を100円玉に変換してお釣りを考えさせたが、正解を出すことはできなかった。説明をしていると目を閉じてしまったので、早々に止めた。 ④複数形の学習の2回目。dogとdogsの区別や単数形の場合動詞が変化すること、についてどの程度理解できているかは、突き詰めると意欲がなくなってしまうので、理解しやすいことを優先して学習を進めた。間違えさせないようにすると、自信のある単語は英語で伝えることができた。myの使い方は忘れていたようだ。
所見	今日は午後からの学習だったためか、学習室が変わったためか、お金の計算にはあまり意欲がない様子。興味を持てる設定を考えた方が良いかもしれない。

受講者：	増田厚子さん	担当者：	阿部晴美
実施場所	東部療育センター 2階南病棟	実施日	2019年10月15日(火)
講義及び学習項目	①はじまりの会 ②数学 お金の計算 ③家庭科 ハンバーグの作り方		

	④英語 複数形
本授業のねらい	①学習項目（家庭科、数学、英語）から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。 ②数学 エプロンの生地代の代金の支払い方を理解する。 ③家庭科 ハンバーグの作り方を調べる。 ④英語は単数と複数では単語が変わるものがあることを理解する。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。本日の学習内容を決める。 ②数学 ③家庭科 ④英語
配布・活用した教材	①特になし ②1000円札、100円硬貨、マグネットボード ③iPad ④iPad、ビックスイッチ、タッチセンサー
受講者の反応	①学習内容は、料理、英語、お金の計算を選び、料理は真ん中にやると言う。 ②生地代が1000円以上の場合1000円札と100円硬貨で払う方法を説明した。1300円の場合1000円札に100円玉を1枚ずつ追加していくと少しわかったような表情になる。1000円でおつりを考えるのは、先週説明したので、800円の場合は、分かったようだ。 ④複数形の学習3回目。Horse、duckなどの単語は忘れていたが、何回かやっていると思い出したようだ。2回分のセッションが終わると疲れてきてスイッチの操作がうまくできなくなってきた。やめるというともっとやると言い、手を支えるのを支援すると3つ目のセッションを最後までやりきる。
所見	本人が決めたこの学習の順番が、一番集中してできるようだ。わかなくなるお金を最初にやり、大好きな料理を挟んで集中できる英語をやると、学習がとてもスムーズにでき、時間にも余裕があった。英語の意欲はとても素晴らしい。

受講者：	増田厚子さん	担当者：	阿部晴美
実施場所	東部療育センター 2階南病棟	実施日	2019年10月29日(火)
講義及び学習項目	①はじまりの会 ②国語 文化フェスタ自己紹介文作成と展示作品の選択 ③家庭科 ハンバーグの作り方		

	④英語 複数形
本授業のねらい	①学習項目（国語、家庭科、英語、数学）から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。 ②国語 自己紹介スライドの文章を作成できる。 ③家庭科 ハンバーグの作り方の写真を手順通りに並べることができる。 ④英語は複数形の単語を見て日本語の意味が分かる。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。本日の学習内容を決める。 ②国語 ③家庭科 ④英語
配布・活用した教材	①特になし ②iPad ③iPad、作成手順の写真、のり、台紙 ④iPad、ピクスイッチ、タッチセンサー
受講者の反応	①学習内容は、文化フェスタのスライドは必ずやってほしいと伝えると、後は料理と英語を選んだ。 ②学習の様子を写した写真を見せて選択するよう伝えと、作ったエプロンの写真とミシンの動画を選ぶ。母の日のプレゼントとともに映っている写真は自己紹介の中に入れることにした。また、英語の作品がないことに気が付いたようで、英語の写真を入れたいと言い、今までの単語のファイルはどうかというとな得せず、学習のアプリのスクリーンショットを撮って並べることで納得した。 ③料理の手順の動画で確認したが、肉をボールに入れることを最初を選び、大好きな肉が優先されてしまっていた。次回はアンコウ鍋を作りたいと言い、理由を聞くと祖母が好きだったからと言っていた。 ④複数形の学習4回目。セッション1の復習をする、dogsの単語を聞き、犬の複数形ということは理解していた。忘れていた単語があったが、2回出てくると思い出し意味を伝えることができた。
所見	自己紹介や展示する作品の選択などではイメージを明確にもち、自分のことや学習していることを正しく他の人に伝えたいという気持ちがしっかりしていた。

受講者： 増田厚子さん 担当者： 阿部晴美

実施場所 東部療育センター 2階南病棟 実施日 2019年11月12日(火)

講義及び学習項目	①はじまりの会 文化フェスタ自己紹介のスライドを見る ②英語 複数形 動物の名称 ③家庭科 あんこう鍋の作り方
本授業のねらい	①学習項目(国語、家庭科、英語、数学)から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。自己紹介のスライドを確認する ②英語は複数形の単語を見て日本語の意味が分かる。身近な動物の単語の意味が分かる。 ③家庭科 あんこう鍋の作り方のビデオを見て、スクリーンショットを撮る場面を考える。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。本日の学習内容を決める。自己紹介のスライドを見る ②英語 ③家庭科
配布・活用した教材	①パソコン ②iPad、ビックスイッチ、タッチセンサー ③iPhone,
受講者の反応	①文化フェスタの自己紹介のスライドを見せると、ニコニコ見えて、「これでよかったですか?」と聞くと、満足そうに「はい」と答える。 ②英語は、複数形と動物の名称をやった。childの複数形 childrenは忘れていて、答えを言うと思いついた表情になる。Duckとbirdの区別、bearなど忘れていたようだが、何回か出てくると正解できた。後半の動物の名称は疲れてきたようで、口の形は言っていたが、声にはならないことがあった。出てくる文章や単語を声に出して覚えようとしていて、覚えようと努力する姿がとても素晴らしい。 ③料理は、前回言っていた「あんこう鍋」を調べた、2種類のレシピから基本の鍋を選び、何回も作り方のビデオをみて、スクリーンショットの場面を考えた。撮った写真を見直して、豆腐の場面が撮れていなかったら、もう一度みて撮ると言い、再度見直して「これでよい」と納得した。
所見	学習に対する意欲が戻り、英語の単語を覚えようとする態度が真摯である。料理でも納得するまでスクリーンショットを見直し、足りないと思うとまたビデオをみて撮るところは几帳面である。

受講者： 増田厚子さん 担当者： 阿部晴美

実施場所 東部療育センター 2階南病棟

実施日 2019年11月19日(火)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②文化フェスタのDVDを見る ③英語 動物の名称
本授業のねらい	①文化フェスタの様子を知る。自己紹介や作品がどのように紹介されたのか、また友達の活動に興味をもつ。 ②英語は身近な動物の単語の意味が分かる。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。本日の学習内容の確認。 ②国語 文化フェスタのビデオ鑑賞 ③家庭科
配布・活用した教材	①DVD プレーヤー ②iPad、ビックスイッチ、タッチセンサー
受講者の反応	授業前、いつもより声が出しにくいようだったので、聞くと、吸引するとのことで吸引したが、後で聞くと、ネプライザーをやっていないことを言いたかったとのことだった。 今日は文化フェスタに出品したエプロンが戻ってきたことを確認して、満足そうにしていた。 ①文化フェスタのビデオを見た。自分の自己紹介の場面を期待していたのだが、阿部が松田さんのビデオプレーヤーの操作に戸惑っていると「どうしたの?」とちょつとうんざりした表情。やっとその場面になると自分のスライドを見てニコリ。内藤さんのスライドも気が付いて手を振っていた。そのほかの学生のスライドや学習発表にはあまり興味を示さなかった。知っている「にじ」や「ピリブ」を聞くと嬉しそうにしていた。 ②英語は、動物の名称を学習した。よく知っている cat, dog は、はっきり答えるが、なじみのない(あまり見たことのない) tuetle, duck は、「え～」と自信がないようだった。
所見	自分に関することにはとても興味を示すが、友達の活動の様子の発表や知らない歌には関心を示さなかったのは、あったことのない人のことなので仕方がないのかもしれない。馴染みのない本を読むことを誘った時も同様だった。

受講者： 増田厚子さん

担当者： 阿部晴美

実施場所 東部療育センター 2階南病棟

実施日 2019年11月26日(火)

講義及び学習項目	①はじまりの会 ②英語 食べ物の名称 ③家庭科 あんこう鍋
本授業のねらい	①学習項目(国語、家庭科、英語、数学)から本日学習する学習項目を選択・決定する力を育てる。 ②英語は食べ物の単語を見て日本語の意味が分かる。

	③家庭科 あんこう鍋の作り方の写真を手順通りに並べ、レシピを作る。
講義及び学習内容	①挨拶・日付と天気の確認。本日の学習内容を決める。 ②英語 食べ物の名称の理解 ③家庭科 あんこう鍋のレシピの作成
配布・活用した教材	①iPad、ビックスイッチ、タッチセンサー ②iPhone、写真カード、台紙、ハサミ、のり
受講者の反応	①自分で学習の順番を英語、料理、お金と決めた。 ②英語は食べ物学習すると自分で選んだ。身近な食べ物の名称は大体わかっているようだ。動物より実物を知っているからだと思われる。meat, meal の区別がつかない、朝食・昼食・夕食などあまり使わない単語や似た単語は難しいようだった。でも1時間続けて集中していたのは意欲の表れだと思う。 ③料理は、アンコウ鍋のレシピの仕上げをした。動画を何回か見て確認して、手順にそって写真を貼っていった。調味料を入れる順番や煮る食材の順番は覚えられず、動画で確認した。調味料を入れる順番を守ることがおいしく作るコツということや食材は火が通りにくいものから入れることを確認しながら学習を進めた。 出来上がったレシピを見て納得した様子だった。私の知っている「ケーキ屋ゆうじや」の話をする。重度な障害のあるゆうじさんが、自分で考えたレシピでケーキを作ってもらい、それを自分で売りに行くことや自分の店をやっていることを話すと、目の色が変わり、自分もやってみたいと思ったようで、「阿部先生！」と言って、自分のレシピを阿部が作って売ってほしいと言っていた。次回は「あんまん」を作る予定である。
所見	自分に関することにはとても興味を示すが、友達の活動の様子の発表や知らない歌には関心を示さなかったのは、会ったことのない人なので仕方がないのかもしれない。馴染みのない本を読むことを誘った時も同様だった。

(3) 山本利恵さん(東京都・清瀬市の自宅)

■訪問講義及び学習報告書

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 宍戸芳子

実施場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年6月11日(火)

講義及び学習項目	① 体への取り組み 14:00~14:30、16:10~16:30
----------	-----------------------------------

	<p>② 創作・文章表現（体への取り組みに並行して行う）</p> <p>③ 情報 14：30～15：30</p> <p>④ 歴史学 平家物語「安徳天皇」15:30～16：00</p>
本授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体を意識し、コントロールできるようになる。 健康な体づくり、動きやすいからだづくり。 ・作品の表現や内容の評価を通して、創作への意欲を喚起する。 ・平家物語：平敦盛の生涯と当時の時代背景について学ぶ。
講義及び学習内容	<p>① 静的弛緩誘導法による体への取り組み（手、お腹、背中、足に触れる。）</p> <p>② 創作・文章表現：「イルカ1～6」の評価</p> <p>③ 情報・コミュニケーション：体調不良と病院の診察結果について聞く。シャローム大学の件について報告と説明。</p> <p>④ 歴史学：安徳天皇の生涯、平家の興亡</p>
配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の作品「いがく」を印刷したもの、作品の評価表。 ・スライド「安徳天皇」を印刷したもの ・シャローム大学からの依頼状と大学の案内、機関紙。
受講者の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・左手の指に触れてしばらく待つと指導者に合わせて力を抜き、両手をもって広げると動かすことができた。お腹に触れていると弛緩してお腹（内臓）が動くのが感じられた。後半の足への取り組みでは足に触れ、膝や骨盤を動かすことを行ったが足が暖かくなっており循環が良いと感じられた。 ・体調はほぼ回復し予想より元気であった。「安徳天皇の即位」について、自分の甥と同じ3歳であったことを知り驚いていた。身近な例を通して「異常な出来事、孫を政治に利用した」ことを具体的に理解できたようであった。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・静的弛緩誘導法は、触れる・触られるというやり取りをして、体に対して認知している像を変えることを目的にしている。5月の欠席の影響をあまり感じることなく、利き手の左手に触れると腕全体の力が抜けていき、学習が定着してきたことが感じられた。カニューレの様子や首の変形（旗艦の変形）があることが分かったので、姿勢変換について気を付ける必要がある。 ・4月上旬と下旬に、入浴中にチアノーゼ状態となり救急車で東大和療育センターへ搬送された。5月は訪問学習を休み今回は久々の訪問であったが、落ち着いて学習できた。「伝の心」の操作も意欲的に行っており、作品「イルカ」には、昨年度から学習してきた生物学の学習の成果が表れていた。平安時代後期については元々興味があり、学習態度も意欲的であった。新聞をコピーした「令和と歴代の天皇」の記事も関心を

	持って聞き、図を見ていた。
--	---------------

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 穴戸芳子

場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年6月25日(火)

講義及び学習項目	<p>⑤ 体への取り組み 14:00~14:30、16:00~16:20</p> <p>⑥ 創作・文章表現（体への取り組みに並行して行う）14:20~15:00</p> <p>⑦ 生物学 15:00~15:30</p> <p>⑧ 歴史学 平家物語「平教盛」15:30~16:00</p>
本授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・体への取り組み：自己の体を認識しコントロールできるようになる。 ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る。 ・創作、文章表現：作品の評価を通して、創作への意欲を喚起する。 ・歴史学：「平家物語」平教盛の生涯と熊谷直実について学ぶ。
講義及び学習内容	<p>④ 体への取り組み：静的弛緩誘導法により手、足、お腹、背中、首に触れて動かす。</p> <p>⑤ 創作・文章表現：入力してあった作品「安徳天皇」「狸」の読みと評価。</p> <p>⑥ 生物学：DNAと遺伝子について。</p> <p>⑦ 歴史学：平教盛の生涯、熊谷直実の苦悩、平家の興亡</p>
配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の作品「イルカ」を印刷したものと同評価表。 ・スライド「平教盛」を印刷したもの
受講者の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・前半の体への取り組みでは、いつもより体が硬かったが待っていると少しずつ合わせてきて、腕が動く範囲で動かしていくといつものようにゆったりしてきて大きく動かせた。お腹、背中も触れていると背中がゆったりしてきた。後半では足から始めて首に触れたが、ベッドの上では難しく、今後の課題。 ・安徳天皇のレポートには数か所間違えて記憶していたところを指摘したが納得していた。新しいことを学びたい意欲はあるが、正確に理解することは難しい面があるようだ。 ・新しい作品（「狸」）の場面を鹿児島に設定した理由を尋ねると「昔の友達がいる」とのこと。その地域の自然、歴史、観光などを調べて書くとよいとの助言には頷いていた。 ・平家物語のCDを聞いていたので、なんとなく一の谷の合戦や平教盛と熊谷直実とのやり取りについてわかっていた様子であったが、スライドで説明した後で「教盛は誰に殺されたか？」と質問すると答え

	られなかった。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・母親からはボトックス治療一か月前で緊張が強いと話があったが、手や足に触れゆっくりと待ちながら少しずつ動かしていくとゆったりしていった。緊張が強いときは時間をかけて取り組むことが大切である。「伝の心」の操作では体の向きや使い方が決まってしまうので、体を使った後で整えることを自分でできるようになることが必要であり、そのための言葉かけが大切になる。 ・生物学は次回も DNA について学習するが、理解しやすくする準備を行う必要がある。 ・歴史学については本人の理解力に合わせて教材を準備し、説明の工夫が必要である。意欲と理解力に差があることが明確になりつつある。本人の意欲を尊重し寄り添いながら授業の準備をしていく必要がある。 ・創作の意欲は衰えることがない。内容がパターン化してきているので、評価をきちんと具体的に伝えていく必要がある。

受講者： 山本 利恵

担当者： 溝井勝広 穴戸芳子

実施場所 山本利恵さん宅

実施日 2019年7月9日(火)

講義及び学習項目	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 体への取り組み (14:00~14:30、16:00~16:20) ⑩ 生物学 (14:30~15:00) ⑪ 創作・文章表現 15:00~15:20 ⑫ 歴史学 平家物語「平知盛」15:20~16:00
本授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・体の取り組み：自己の体を意識し、コントロールできるようになる ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し文章表現の力を向上させる。 ・歴史学：「平家物語」平知盛の生涯と平家滅亡に至る経過について学ぶ。
講義及び学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 体の取り組みは静的弛緩誘導法による。(前半は手、後半は足～骨盤、体幹) ② 生物学：DNA と遺伝子について ③ 創作・文章表現：入力してあった作品「狸2」「狸3」の読みと評価。 ④ 歴史学：平知盛の生涯と亡霊、平家の滅亡にまつわる平家蟹について知る。
配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・学研の図鑑「人体」を参考にした。(配布は無し)

	<ul style="list-style-type: none"> ・前回提出のレポート「安徳天皇」、作品「狸1」を印刷したものと評価表。 ・スライド「平知盛」を印刷したもの ・DVD 100分で名著「平家物語」
受講者の反応	<p>① 体の取り組みと生物学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半はいつもより緊張が弱く、触れた時にはゆったりしていた。(伝の心のスイッチを操作しやすくなるために、手指を丁寧に触れた。手首は未確認であった。) ・以前、生命の歴史で学習した生命の発生や人体の細胞について覚えていた。 ・お腹を触れているとお腹が動くのを感じた。副交換神経が働いている証である。 ・後半では足を触れてから脚を動かし、骨盤や体幹を動かした。抵抗感はなかった。 <p>② 創作、文章表現、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価はB、1単位として認めることを伝えると嬉しそうであった。 ・歴史学では理解しやすくするため、スライドに写真や図を多くし、分かりやすい説明を工夫した。集中して画面を見、説明も真剣に聞いていた ・100分で名著「平家物語」のDVDには興味を示した。レポート提出を条件にあげた。 ・最近のニュースでは「子供の虐待」をあげた。身近に甥や姪がいるので気になる様子。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は最初からゆったりとしていた。足が冷たいので(気温のせい)か) お腹を丁寧に触れたがお腹がよく動いていた。肩甲骨付近は丁寧に触れて、動かした。次回は言葉かけだけでどのくらいリラックスできるかを確かめたい。 ・生物学のDNAと遺伝子の授業では、画像などを使い、理解しやすいように行いたい。次回は遺伝子について(NHKスペシャル)中心に行う。 ・伝の心を操作する時間が少なく、作品数は少なかったが内容面でも向上が見られた。(学習した内容を作品に書き込んであった。(サツマイモ、狸が雑食動物であること等。)) ・スライドには写真や図を多くし、人間関係には身近な人たちを例に挙げるなどの方法は理解しやすいようで、効果的であった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「DVDが欲しい」とはっきり意思表示をした。 ・身近に甥や姪がいるので「子供関連」のニュースには常に関心がある。
--	--

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 大戸芳子

実施場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年7月23日(火)

講義及び学習項目	<ul style="list-style-type: none"> ⑬ 体への取り組み (14:00~14:30、16:00~16:20) ⑭ 生物学 (14:30~15:00) ⑮ 創作・文章表現 15:00~15:20 ⑯ 歴史学 平家物語「平知盛」15:20~16:00
本授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・体への取り組み：自己の体を意識し、コントロールできるようになる ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し、文章表現の力を向上させる。 ・歴史学：「平家物語」源氏の武将3人の平家討伐の活躍と生涯について学ぶ。
講義及び学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 体の取り組みは静的弛緩誘導法による。(前半は手、後半は手、足) ⑥ 生物学：DNAと遺伝子について ⑦ 創作・文章表現：作品「狸4~6」、レポート「平知盛」の読みと評価。狸の生態。 ⑧ 歴史学：「平家物語」源氏の武将3人の生涯、平家の滅亡に向けて果たした役割。
配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・NHKスペシャル「DNAと遺伝子」を参考にした。(配布は無し) ・前回の提出作品「狸2、3」を印刷したものと評価表。 ・スライド「源氏の武将」を印刷したもの ・冊子「たかし君と柿の木君」(知人が出版した本)
受講者の反応	<ul style="list-style-type: none"> ③ 体の取り組みと生物学 ・手を触れただけで痰が上がってきて、肩が痛いと言え足も冷たい。お腹と背中、手を丁寧に触れた。中頃からは背中や手の指がゆったりし足も暖かくなった。後半は体調不良のため、手足をゆっくり触れた。からだは、ゆったりした。 ・前回の「DNAが受け継がれる」の説明が難しかったので、NHKの画像を使って説明をした。細胞の核にDNAがあり、細胞分裂が行われる事が理解できた様子。 ④ 創作、文章表現、歴史学

	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートはDVDを何回も見たとのことで、よくかけていた。平家物語の登場人物の果たした役割、それぞれの関係についてだいぶ理解が進んだようであった。 ・理解しやすい工夫（スライドの作成、現代に合わせた具体的説明を多くする）をした結果、関心をもって学習に集中できていた。 ・最近のニュースについては「選挙」の話をした。自分は郵送で投票したとのこと。 ・体調が悪く、不安が大きく、主治医に入院の希望を伝えたりしていたようだが、学習中はいつものように意欲的であった。緊張緩和剤の座薬を使用。ボトックス治療の直前で、緊張が強い。5月の振り替え授業を8月に行う提案に、嬉しそうに「はい」と意思表示をした。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良の原因は明日からのショートステイやボトックス治療だけでなく、気候変化が著しいことも影響していると思われる。触れることを丁寧に行うとゆったりしてきた。体調不良の場合は、丁寧にお腹や背中、手・足を触れる事が大切。 ・生物学では、私たちが生きているということはすごいことだと感じて欲しい。最新の映像を紹介し、普段の生活と結びつける事ができるような話をしたいと思う。 ・緊張が強く、体調不良であったが、作品とレポートがきちんとできていた。レポートの内容が向上し、学習の成果が表れていた。作品に登場する「狸」の情報には非常に興味を示した。 ・歴史学の学習では写真と図を多くしたスライド、理解しやすい説明を心掛けたが、学習態度が意欲的であった。次回は黒幕であった「後白河法皇」を希望した。

受講者： 山本 利恵

担当者： 溝井勝広 宍戸芳子

実施場所 山本利恵さん宅

実施日 2019年8月6日(火)

講義及び 学習項目	<ul style="list-style-type: none"> ⑰ 体への取り組み（14:00～14:20、16:00～16:20） ⑱ 生物学（14:20～15:00） ⑲ 創作・文章表現（一部は体への取り組みに並行して行う）14:20～15:20 ⑳ 歴史学 平家物語「後白河法皇」15:20～15:50
本授業の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・体の取り組み：自己の体を意識し、コントロールできるようになる 健康な体づくり。動きやすい体づくり ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し、文章表現の力を向上させる。

	<p>・歴史学：「平家物語」後白河法皇の生涯と歴史上の評価について学ぶ。</p>
講義及び学習内容	<p>⑨ 体の取り組みは静的弛緩誘導法による 前半は手を中心に、後は足を触れ、体幹がゆったりできるようにする。創作や歴史の学習中は、凸側のお腹・背中、手を触れる。</p> <p>⑩ 生物学：DNA と遺伝子について（まとめ）</p> <p>⑪ 創作・文章表現：作品「狸2」「狸3」の読みと評価。「狸」のつく言葉と「狸」のお話</p> <p>⑫ 歴史学：後白河法皇の生涯、歴史上での果たした役割について。「院政」など</p>
配布した教材	<p>・生物学では配布した教材はないが、パワー・ポイントを使い、DNA と遺伝子のまとめをクイズを入れながら行った。</p> <p>・前回提出のレポート「平教盛」、作品「狸4～6」を印刷したものと評価表。</p> <p>・スライド「後白河法皇」を印刷したもの</p>
受講者の反応	<p>⑤ 体の取り組みと生物学</p> <p>・ボトックスの注射後であったが、手を触れただけでは肩の力が抜けなかった。歴史の学習中は丁寧に手に触れ、だんだん肩がおりてきた。後半の取り組みでは、側湾のこともあり、足を触れ、股関節と骨盤を動かした。体が起きており、体幹を動かすことが難しかった。</p> <p>・今回は、DNA と遺伝子のまとめを行った。DNA が細胞の核の中にあることや細胞が40兆もあることなど覚えていた。遺伝子にはスイッチのようなものが有り、遺伝子のある部分は、人の働きによってスイッチがON、OFFになることも理解できていた。</p> <p>⑥ 創作、文章表現、歴史学</p> <p>・レポートの評価はB、1単位として認めることを伝える。（笑顔で嬉しそうであった。）</p> <p>・創作への応用を目的に「狸」のつく言葉、民話を紹介した。興味を持ち真剣に聞いていた。</p> <p>・歴史学の学習では、文字中心の資料だと理解するのが大変な様子。「関係図」にイラスト入りを入れてみた。分かりやすいようであった。次回は「高倉天皇」の希望が出た。</p> <p>・7月に録画した「ストローでの水分摂取」の動画を紹介した。自分の姿を見る機会はあまりないので、にこにこしながら見ていた。「もう一回見たい」と希望が出た。</p>
所見	<p>・最近の呼吸の問題が、カニューレにあるというのがはっきりし、解決したので、本人は明るかったが、緊張がいつもより強いと感じた。姿勢</p>

	<p>がいつもより起きていたためなのか？わからなかった。ボトックスの注射のあとは、緊張感が弱くなるが、今回は違っていた。理由がわからなかったが、丁寧な手を触れているといつものように肩もゆったりした。生物学の内容については、生活と結びついた話をしたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/24～30のショートステイ期間中にボトックス治療、カンニューレの交換があり、自宅に戻ってからも落ち着かず、伝の心の操作は休んでいた。誤入力が多く、続けることの大切さを感じた。 ・後白河法皇の家系図と関係者については、理解が難しそう。ただし、100人一種で取り上げた崇徳院や安徳天皇の名前を挙げると、理解しやすい様子であった。学習意欲はあるが、内容の理解と定着について課題が多い。教材の工夫、授業の展開について研究が必要である。
--	--

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 宍戸芳子
 実施場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年8月21日(水)

講義及び学習項目	<p>21 体への取り組み (14:00～14:20、16:00～16:20)</p> <p>22 生物学 (14:20～14:50)</p> <p>23 創作・文章表現 (一部は体への取り組みに並行して行う) 14:50～15:15</p> <p>24 歴史学 平家物語「高倉天皇」15:20～15:50</p>
本授業の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・体の取り組み：自己の体を意識し、コントロールできるようになる 健康な体づくり 動きやすい体づくり ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し文章表現の力を向上させる力を養う。 ・歴史学：「平家物語」高倉天皇の生涯と歴史上の評価について学ぶ。
講義及び学習内容	<p>⑬ 体の取り組みは静的弛緩誘導法による前半では手を中心に、後半では足を触れて、体幹がゆったりできるようにする。</p> <p>⑭ 生物学：食物の流れについて</p> <p>⑮ 創作・文章表現：作品「狸8～10」とレポート「後白河法皇」の読みと評価。 「関西と関東のたぬきそば、たぬきうどん」のお話</p> <p>⑯ 歴史学：高倉天皇の生涯、歴史上で果たした役割について。</p>
配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・配布はしていないが、学研の図鑑「人体」を参考に、教材（パワーポイント）を作った。 ・前回は提出した作品「狸7」を印刷したものと評価表。 ・スライド「高倉天皇」を印刷したもの

<p>受講者の反応</p>	<p>⑦ 体の取り組みと生物学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回と同様、手を触れただけでは肩の力が抜けず、いつもより緊張が強いと感じた。 ・食べ物が分子レベルまで分解される過程、器官の役割について話をした。以前学んだこと、腸内細菌や肝臓の働きについてもよく覚えていた。便は食べ物のカスだけではないこと、胃の位置や体を起こして食べることを意味を知ってもらいたいと感じた。 ・歴史の学習中にお腹が触れていると、お腹が動くのを感じたが、右手の力が抜けなく、親指と人差し指の力を緩めることができなかつた。後半では、足を触れ、股関節や骨盤を動かした。 <p>⑧ 創作、文章表現、歴史学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品とレポートはよく書けていたと伝える。作品中の「破門」「勘当」の言葉と意味の違いを伝えた。 ・「狸」にまつわる「関東と関西」の違いについて紹介した。興味を持ち笑顔で聞いていた。 ・歴史学の学習に必要な知識「関係図」の理解が課題。いとこ同士の結婚や、祖父の支配力について、姉と妹の子どもたちを例にして説明したが、幼い年齢で天皇の地位に就く話については、甥を例にして説明すると理解しやすい様子であった。 ・気分転換に「作品集に使用するイラスト」の候補を見た。作品の内容と関連させて選ぶことが難しい。
<p>所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回は緊張が強いと感じたが、姿勢がいつものようであっても、手を触れても預けることがなかなかできなかった。特に親指と人差し指の緊張が強かった。指の緊張は、肩や胸の緊張と大変関係しているので、手を丁寧に触れていきたい。 ・生物学は、今回は食べることについて行った。私たちの体は機械ではなく、繋がりを持っていること、食べ物がエネルギーだけではなく、私たちの体を作っていることを伝えていきたい。 ・カニューレを交換して約1か月。体調は安定し、伝の心の操作を楽しんでおり、作品の展開も今までよりは明るく、ハッピーエンドで終わっていた。 ・痰が多く、学習中もタオルに出し、吸引もしていた。栄養剤の摂取はスロウで行っていた。 ・人間の関係図の理解は理解が難しそう。どこまで具体的に説明できるか、学習支援員の課題である。学習意欲はあるので、教材の工夫、授業の展開について更なる研究が必要である。

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 宍戸芳子
 実施場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年9月10日(火)

講義及び学習項目	25 体への取り組み (14:00～14:20、16:00～16:10) 26 生物学 (14:20～14:50) 27 創作・文章表現 (一部は体への取り組みに並行して行う) 14:50～15:10 28 情報 シャローム大学学長と話す 15:10～16:00
本授業の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・体の取り組み：自己の体を意識し、コントロールできるようになる 健康な体づくり 動きやすい体づくり ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し文章表現の力を向上させる力を養う。 ・情報：普段接することがない方と話しをして新しいことを学ぶ。
講義及び学習内容	⑰ 体の取り組みは静的弛緩誘導法による。 前半では手を中心に、後半では足を触れて、体幹がゆったりできるようにする。 ⑱ 生物学：顕微鏡で細胞をみる ⑲ 創作・文章表現：作品「鹿1～11」とレポート「高倉天皇」の評価。 ⑳ 情報：引地さんと互いの自己紹介、今までの仕事、今やろうとしていることや調査の説明、など。
配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・100倍・200倍・400倍を見ることができる顕微鏡を持っていき、植物の細胞を見る。 ・前回に提出した作品「狸8～10」、レポート「高倉天皇」を印刷したものと評価表。 ・DVD (知恵泉 紫式部)を貸し出し
受講者の反応	⑨ 体の取り組みと生物学 <ul style="list-style-type: none"> ・いつもより興奮していたが、手を触れた感じは前回より柔らかく、親指も開いた。脈も、触れていく中で70～60台になった。学習中には、お腹と背中を触れたが、いつものようにお腹が動くのを感じることができなかった。興奮しているので、副交感神経が優位にならなかったのだろうか？後半の取り組みでは、足を触れて、股関節や骨盤を動かすことを行う。お腹の下が動くのを感じた。 ・今回は細胞を見ることを行った。植物が細胞から出来ていることがわかってもらえたと思う。人間の体も細胞から出来ていることを、次回話していく。 ⑩ 創作、文章表現、歴史学 ・作品とレポートはよく書けており、単位はそれぞれ1単位ずつ認めたと伝え

	<p>る。</p> <p>佐藤邦男元校長の作品に対する評価を伝えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャローム大学学長との話を楽しみにしており、自己紹介を入力して待っていた。年齢が近いこと、共通の趣味があることが分かり、刺激になった様子で、「頑張ります」、と伝えていた。 ・次回からは源氏物語を学習する。朗読のCDを購入していた。平安時代について関心があり、平家物語の流れで「源氏物語」を選んだとのこと。その次は三国志を学びたいとの希望が出た。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はシャローム大学の引地先生が訪問をするということで、本人は張り切っていたようだ。体の方では、前回の手の硬さを感じるができなかった。脊柱付近を触れることができているので、健康作りのためにも姿勢変換を取り組んでいかないといけないと思う。 ・生物学では、顕微鏡が借りられたので生物が細胞から出来ていることを見せたく、授業に入れた。顕微鏡の発達によりいろいろ分かるようになってきた事を伝えていきたいと思う。 ・体調は安定し、伝の心の操作を長時間行っている様子である。レポートは全体としては誤入力も少なくよく書けていた。宿題の「引地さんと話したいこと」の課題を直前まで入力していた。新しい作品(鹿)は、登場人物の描写、内容の展開など、今までに書いた内容に近い。(作品のパターン化) ・緊張予防の為、3時ごろ自分の要望で緊張緩和剤を飲んでいて。引地さんの訪問を楽しみにしていた。「自己紹介」とヘルパーさんの通訳で、自分の思いを伝える事ができて満足そうであった。

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 宍戸芳子

実施場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年9月24日(火)

講義及び学習項目	<p>29 体への取り組み (14:00~14:20、16:00~16:10)</p> <p>30 生物学 (14:20~14:50)</p> <p>31 創作・文章表現 (一部は体への取り組みに並行して行う) 14:50~15:30</p> <p>32 歴史学：源氏物語 15:30~16:00</p>
本授業の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・体の取り組み：自己の体を意識し、コントロールできるようになる 健康な体づくり 動きやすい体づくり ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し文章表現の力を向上させる力を養う。 ・歴史学：源氏物語の作者と物語の概要を学ぶ。
講義及	21 体の取り組みは静的弛緩誘導法による

<p>学び学習 内容</p>	<p>前半では手を中心に、後半では足を触れて、体幹がゆったりできるよ にする。</p> <p>② 生物学：植物と動物の細胞の違い</p> <p>③ 創作・文章表現：作品「鹿 13, 14, 15, 17」とレポート「引地先生講義の感想」の評価。</p> <p>④ 歴史学：源氏物語の作者「紫式部の生涯」、「物語の時代背景」など。</p>
<p>配布し た教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布はない。パワーポイントで講義を行った。 ・前回到提出した作品「鹿 1～11」、レポート「引地先生への自己紹介」を印刷したものと同評価表。 ・DVD（知恵泉 紫式部）を貸し出し（まだ見ていなかった。）
<p>受講者 の反応</p>	<p>⑪ 体の取り組みと生物学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半には左手、右手の順で行う。手と腕がゆったりして、右手も握ったり手首を意思通りに動かすことができた。後半では、足を触れて、股関節や骨盤を動かすことを行う。足が暖かく、循環が良いことを感じた。循環が良いことが健康と関係していることを伝えないといけない。 ・本人は、脳性マヒという障害について知りたいということがあがるが、細胞が生きているということと関係していることを理解するのは、難しいようだ。 ・歴史学の講義中はお腹や背中を触れ、手を触れた。手と腕がリラックスしていた。 <p>⑫ 創作、文章表現、歴史学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート、自己紹介はよく書けており、単位はそれぞれ1単位ずつ認めたと伝えた。 ・シャローム大学学長の講義の感想文に「シャロームの学生になった・・・」の記述があったので「今年度のみ研究協力をするようになった。」の説明を再度行った。理解が難しい様子。 ・源氏物語の朗読CDを「伝の心」で試聴したがCDが抜けなくなった。（対応を家族へ依頼した。）登場人物で関心があるのは光源氏、女三宮であるとのこと。理由を確認していきたい。 ・介助者の手を借りて、伝の心でのインターネットの検索ができることが分かった。楽しみである。
<p>所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前期最後の授業なので、授業の評価について聞いた。体の取り組みでは、姿勢変換や座位姿勢を行っていないことが出された。また、リラックスについてはボトックスの注射が切れる前にして欲しいという要望があった。注射と学習の違いについて説明が出来ていないと感じた。姿勢についてはカンヌーレのことが解決したので、少しでも取り組んでいかないといけないと感じた。後期は取り組んで行きたい。生物学については、伝える方の力不足であ

	<p>った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調は安定し、伝の心の操作を楽しんでいる。レポートや感想文の中に記憶違いがあったが、全体としては誤入力も少なくよく書けていた。植物の「ムラサキシキブ」の名前の由来、創作に出てくる「鹿」について一般的な情報を伝えたが、興味をもってスライドを見、話を聞くことができた。 ・源氏物語の登場人物や物語全体の構成については、理解が難しそうであるので、丁寧に説明を繰り返していく必要があると思われる。 ・文化フェスタに参加することを楽しみにしている。
--	---

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 宍戸芳子
 実施場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年10月8日(火)

講義及び学習項目	<p>33 体への取り組み (14:00~14:20、16:00~16:10)</p> <p>34 生物学 (14:20~14:50)</p> <p>35 創作・文章表現 (一部は体への取り組みに並行して行う) 14:50~15:40</p> <p>36 歴史学：源氏物語 15:40~16:10</p>
本授業の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・体の取り組み：自己の体を意識し、コントロールできるようになる 健康な体づくり 動きやすい体づくり ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し文章表現の力を向上させる力を養う。 ・歴史学：源氏物語の登場人物について学ぶ。(光源氏、女三宮、紫の上)
講義及び学習内容	<p>① 体の取り組みは静的弛緩誘導法による。 前半は手と足を触れて、動かす。後半は足を動かし、四分の一の寝返りをする。 講義に並行して凸側のお腹・背中、手・足に触れる。</p> <p>② 生物学：後期の学習要望を聞く。</p> <p>③ 創作・文章表現：作品「鹿 18～最後」の評価。ユウガオの実、調教師、文章の書き方等。</p> <p>④ 歴史学：源氏物語の時代背景、紫式部の役割など。</p>
配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・配布はない。ポブラ社の「人体絵本」を教材にした。 ・前回は提出した作品「鹿 12～16」、レポート「引地先生の講義の感想」を印刷したものと評価表。 ・スライドを印刷したもの。(ユウガオの花～実へ、調教師とは？ よい文章を書くには、他)
受講者	⑬ 体の取り組みと生物学

<p>の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手足がゆったりしていたので、手足を触れて、動かすことができた。いつも力が入っている人差し指も親指も動かすことができ、利き手ではない右手で握ってきたりした。歴史の学習の間は、手足を動かさず、お腹や背中に触れた。 ・後半の取り組みでは、全体がゆったりしているので、足を触れて動かし、久しぶりに、四分の一の寝返りを繰り返して行った。最初は首に力が入りSPO2の値が下がったが、2度目からは首もゆったりして、SPO2も下がらないですんだ。 ・生物学の後期の授業についての話をした。人間以外のものとして、例を示して昆虫や植物などの学習もどうかと聞いたが、人体について学びたいという話であった。 <p>② 創作、文章表現、歴史学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作「鹿」の内容は前に描いた作品と同じような展開、自分の経験からの言葉で書くようにと伝えたと、その場では「もう書かない。」と。紫式部の経歴を再度伝え、経験から生まれる内容や言葉で表現することが大事であることを話した。また、山本さんの客観的な評価と周囲の期待について話し、リカバリーのモデルと言えること、自分の体験から得られた言葉を使って作品を書いてほしいと話した。 ・フェスタの「紹介」のパワーポイントを見せ、理解を得た。 ・当日配布の作品は「レポート集」「童話集」にしたいと相談。理解を得た。
<p>所見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利恵さんは、緊張のコントロールや体を動かすことの解決は薬によるものと思っている。体の緊張は全て障害とされていて、認識が影響していると思っていない。手首が意識的に使えるようになったのも、薬のためだと思っている。カスタネットを無理な力を入れないでたくさん練習したことでコントロールできたと思っていない。文を書いたりすることと同じように体を動かすことも学習することであるということを知ってもらいたい。こころとからだは創り創られていくことを伝えていきたい。 ・作品の内容が類似しているのは、映像で見て憧れている事を登場人物に言わせ、行動させていることが原因と思われる。自分の体験を振り返り、いろいろな場面、人、植物、自然を観察し、自分の言葉で表現する力をつけていきたい。「 」を使えるようになり、表現上の技術面で向上してきた。 ・源氏物語のCDを聞いて楽しんでいる。登場人物の性格や人間関係などついて丁寧に説明をしていきたい。 ・文化フェスタに参加することを楽しみにしている。

受講者： 山本 利恵

担当者： 溝井勝広 宍戸芳子

実施場所 山本利恵さん宅

実施日 2019年10月22日(火)

講義及び学習項目	37 体への取り組み (14:00~14:20、16:00~16:20) 38 生物学 (14:20~15:00) 39 創作・文章表現 (一部は体への取り組みに並行して行う) 15:00~15:35 40 歴史学:源氏物語 15:35~16:00
本授業の狙い	・体の取り組み:自己の体を意識し、コントロールできるようになる 健康な体づくり 動きやすい体づくり ・生物学:生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現:創作への意欲を喚起し、文章表現の力を向上させる力を養う。 ・歴史学:源氏物語の登場人物と時代背景について学ぶ。(光源氏、夕顔、貴族の年取)
講義及び学習内容	22 体の取り組みは静的弛緩誘導法による 前半では手と足を触れて、動かす。後半では足を動かし、四分の一の寝返りをする ② 生物学:骨について ③ 創作・文章表現:作品「鹿」の評価。ユウガオの実の観察と文章の書き方(自分を知る等) ④ 歴史学:源氏物語の時代の貴族の年取、光源氏のモデル、他。
配布した教材	・配布はない。パワーポイントで講義を行った。 ・前回に提出した作品「鹿」の評価表と前期の作品集。フェスタで配布する童話集の見本。 ・スライドを印刷したもの。(源氏物語 夕顔。よい文章を書くには、リカバリーとは、 他)
受講者の反応	⑭ 体の取り組みと生物学 手足がゆったりしていたので、手足を触れて、動かすことができました。ボトックス注射前というのにゆったりであった。歴史の学習の間、お腹や背中に手足を動かさないうで触れた。背中を丁寧に触れていたら、ゆったりしてきた。後半の取り組みでは、全体がゆったりしているので、足を触れて、動かし、四分の一の寝返りを繰り返した。SPO2の値が徐々に下がってきた。痰が動いたためか、姿勢変換をしたためか。原因がわかるようにしていきたい。 ・生物学では人体の骨の話をした。骨が壊されて作られていること、骨の役割を話した。前回話した血管の長さを覚えており、骨の役割をよく聞いていた。

	<p>⑮ 創作、文章表現、歴史学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、「自分の経験からの言葉で書くように」と伝えたが、新たに書き始めた「施設」は自分の体験をベースにした内容で、工夫と努力の跡が見られた。また、自分を知るためのアンケートを開始したが、回答に意欲的で反応は良い。 ・フェスタで単位取得証明書と今までの単位取得表を渡すと伝えた。喜んでくれた。 ・源氏物語の光源氏の年収はその地位から「約3億円」と説明したが、理解が難しそうであった。 ・夕顔と光源氏の出会いから別れまでは短く、六条御息所の怨霊に殺された話には興味津々で、今回は六条御息所を学習したいと希望。ショートステイ先に源氏物語のCDを持参して聞いてくるとのこと。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・痰が硬くなり、SPO2の値が下がってしまったとのこと。水分を取らない時があり、いろいろ指示されるのはおせっかいと受け取っている。水分を冷たいまま一挙に500mlのむ。冷たいものを飲み過ぎると体の中が冷えてしまう。生物学では、人体にとって何が大切なのか考えられるような授業をしたいと思う。免疫力を上げるためにはどうしたらよいか、など考えられるようになって欲しいと思う。体の取り組みや生物学で、作り作られることを伝えていきたい。 ・新しい作品の内容は、脳性麻痺の男子が遠隔地の施設に入所し、気管切開し、指でパソコンを操作して意思を伝えるというもの。自分の体験をもとに書くようにと指導した結果か？今後が楽しみ。直接体験して考えた事とドラマ等を見て感じた事の違いを、理解できるように説明していきたい。文章表現の技術面では「」や改行を使えるようになり、向上した。観察力、そして表現する力をさらに伸ばしていきたい。そのために、源氏物語の登場人物の性格や人間関係など、丁寧に説明をしていきたい。 ・文化フェスタに参加することを楽しみにしている。

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 宍戸芳子
 実施場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年11月12日(火)

講義及び学習項目	<p>41 体への取り組み (14:00~14:20、16:00~16:20)</p> <p>42 生物学 (14:20~15:00)</p> <p>43 創作・文章表現 (一部は体への取り組みと並行して行う) 15:00~15:55</p> <p>44 歴史学：源氏物語 (時間が無くなり、次回へ)</p>
本授業の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・体の取り組み：自己の体を意識しコントロールできるようになる。健康で動きやすい体づくり

	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し文章表現の力を向上させる力を養う。 ・歴史学：源氏物語の登場人物と時代背景について学ぶ。（光源氏、夕顔、貴族の年取）
講義及び学習内容	<p>① 体の取り組みは静的弛緩誘導法による。前半では手と足を触れ、後半では足を動かし、四分の一の寝返りをする。文章表現の学習中は凸側のお腹・背中、手・足を触れる。</p> <p>② 生物学：筋肉について</p> <p>③ 創作・文章表現：作品「施設1～10」の評価。文章の書き方（自分を知るためのアンケート等）。ドリアン助川さんのコラムから「積極的感受」について学ぶ。自己紹介の文の校正。</p> <p>④ 歴史学：源氏物語の時代の貴族の年取、光源氏のモデル、他。（次回へ）</p>
配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・配布はない。パワーポイントを使用して説明を行った。 ・前回は提出した作品「施設1～10」と評価表。・スライドを印刷したもの（よい文章を書くには）。 フェスタのDVD。前年度に掲示した「学生紹介」
受講者の反応	<p>⑩ 体の取り組みと生物学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半はゆったりしており、手足に触れて動かすことができた。右手で握ることを意識してできた。後半は足・腰を動かし、四分の一の寝返りを行った。一回目はSPO2の値が下がったが、2回目以降は下がらないですんだ。文章表現の講義中には、手足を動かさずにお腹や背中に触れた。手足が温かく、右手が良く動くようになった。 ・前回の骨について復習してから筋肉について行った。体の取り組みでは拮抗筋を使い、緊張している反対を触れて、緊張しているところを緩めている、ことなど話した。自分のことと関係しているので、よく話を聞いていた。 <p>⑪ 創作、文章表現、歴史学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛のイラストで「牛の肉の各部位の名前」の復習をした。カルビ意外に好きな部位の名前も挙げた。 ・引地さんから依頼された「自己紹介文」の校正をし、掲載される写真を自分で選んだ。 ・フェスタの写真（同級生と奈月さんと3人で撮った）をスライドで紹介した。奈月さんのCDをネットで注文したとのことであった。 ・ドリアン助川さんのコラム、「生きることを決めてあきらめるな」「生産性ばかりを気にせず楽しく生きる」には関心を示し、共感を示していた。 ・創作「施設」は「」、改行、ト書きなど、表現の技術が向上したことを評価す

	<p>ると喜んでいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を知るためのアンケートでは「好きなどころ」「嫌いなところ」を聞いた。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・母親の話で、両手を挙げて万歳のようにしていたという話があった。腕を下げたりもできるようになってきている。体がコントロール出来る範囲が広がっている。ただし、動きなどは薬ではできないので、学習によるということを知って欲しいと思う。授業でも意識的に動かすことをしていかないといけないと思う。本人が普段できることを見つけていく必要があると感じる。 ・創作「施設」が完了。新しく「愛美」を書き始めた。主人公は障害がある女子。家族関係は「父親が継父」とパターン化している。ただし、自分の意思を強く出す女子が描かれている。 ・自分について知り、自分の言葉で表現する力をつけていきたい。 ・目的や字数を意識して文章を書くことを課題にしていきたい。

受講者： 山本 利恵 担当者： 溝井勝広 宍戸芳子
 実施場所 山本利恵さん宅 実施日 2019年11月26日(火)

講義及び学習項目	<p>45 体への取り組み (14:00~14:20、16:00~16:20)</p> <p>46 生物学 (14:20~15:00)</p> <p>47 創作・文章表現 (一部は体への取り組みに並行して行う) 15:00~15:55</p> <p>48 歴史学：源氏物語 (→時間が無くなり、今回はなし)</p>
本授業の狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・体の取り組み：自己の体を意識し、コントロールできるようになる 健康な体づくり 動きやすい体づくり ・生物学：生物の仕組みや成り立ちを知る ・創作、文章表現：創作への意欲を喚起し、文章表現の力を向上させる力を養う。 ・歴史学：源氏物語の登場人物と時代背景について学ぶ。(→時間が無くなり、今回はなし)
講義及び学習内容	<p>23 体の取り組みは静的弛緩誘導法による 前半では手と足を触れて動かす。後半では足を動かし、四分の一の寝返りをする。</p> <p>② 生物学：食について</p> <p>③ 創作・文章表現：作品「施設 11~15」の評価。文章の書き方 (自分を知るためのアンケート等)。加藤登紀子さんのコラムから「寄り添う」「死にたいと生きたい」</p> <p>④ 歴史学：今回は時間が無くなり、次回へ</p>

配布した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・配布はない。パワーポイントで講義を行った。 ・前回到提出した作品「施設 11~15」と評価表。・スライドを印刷したもの。 (よい文章を書くには) ・本に載った原稿のコピー、・コンファレンスの案内
受講者の反応	<p>⑱ 体の取り組みと生物学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイの影響か気温が急に低くなったためか前回より緊張が強いと感じたが、手足は暖かかった。文章表現の学習中は、凸の方のお腹や背中、右手右足を触れたが、右手を預けることがなかなかできなかった。後半では、足を触れて動かしてから四分の一の寝返りをした。SPO2の値は変わらず。いつもより緊張が強かったが、本人が「する」と答えたので行った。 ・NHK スペシャルの映像をスライドにし、「食」について行った。以前、生命の歴史や人類の進化について学習したと関係しているので、取り入れた。本人は興味を持って参加していた。脳にとって糖質が大切ということも知っていた。 <p>⑲ 創作、文章表現、情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設 11~15 については「」と改行が出来ている点、人物の表現に深みが出てきた点について評価し、さらに工夫が必要な点を伝えた。「単位は？」と質問あり、手書きで1を書き加えて渡す。 ・フェスタの感想文を画面に映して一緒に誤字の校正をした。他の学生の発表の感想を自分の言葉で表現できていた点、奈月さんの話を自分の事と重ね合わせて、考えることができていた点を評価した。 ・ゆうがおの種を見、植物の変化と観察の面白さと大事さについて伝える。 ・自分の良いところ「明るい」と、悪い点の「比較する」について深めた。「カスタンネットを鳴らす」と緊張がゆるむのでカスタはお守り。計算ができるようになって家計簿をつけたい希望あり。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・文章表現の学習にカスタンネットのことが出たので、全身を使わないでスイッチを押せるようになったこととの関係を話すことができた。体について具体的に話す、理解がしやすいと思った。今回の「食」についての学習は興味を持っていた。体は食べ物によって作られるので、また「食」について行いたい。宿泊行事で、緊張が強い子は興奮してなかなか寝ることができないが、利恵さんは、夜はしっかり寝ることができていたということもわかった。健康な体作りには、「食」「睡眠」「運動」が大切ということを意識して、体の取り組みをしていきたい。 ・「愛美」は現実遊離の場面が多い。文章表現は技術面では向上してきたが、定着が課題。(「」、改行など。) フェスタの感想文は構成・内容ともにとてもよ

	<p>く書けていると評価すると喜んでた。自分でも自信があった様子。単位については気になっているようで、「施設」の単位を自分から質問してきた。</p> <p>・自分の言葉で表現し、目的や字数を意識して文章を書く力を、さらに伸ばしていきたい。</p>
--	---

(4) 岩村和斗さん

受講者： 岩村 和斗

担当者： 引地達也


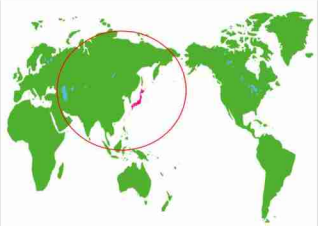





実施場所 岩村和斗さん宅（東京都・杉並区） 実施 2019年4月～2020年1月

岩村さんの学習は4月～7月は世界の国について学び、フィールドワークとしてカナダ大使館を訪問した。10月～2020年1月は歴史をテーマに「人類の誕生」から「奈良時代」までを行った。講義は基本的にパワーポイントを使用しパソコンの画面を示しながら説明し、講師の質問に対してはパソコンで返答するスタイルで学習を行った。

以下は講義「世界の国」のうち「中国」に関する講義資料と講義「歴史」のうち「人類の誕生」の講義資料である。これらすべての講義資料は「講義資料集」として別途まとめており、データ化もしている。

・講義スケジュール

前期		後期	
4月18日	オリエンテーション	9月26日	国立近代美術館
4月25日	世界の国旗	10月3日	高畑勲展おさらい
5月9日	中国	10月10日	人類の誕生
5月16日	韓国	10月17日	人類の誕生
5月30日	フィリピン	10月24日	縄文時代
6月6日	モンゴル	10月31日	縄文時代
6月19日	タイ	11月6日	弥生時代
6月27日	インド	11月13日	弥生時代
7月4日	サウジアラビア	11月20日	古墳時代
7月11日	カナダ	11月27日	古墳時代
7月19日	カナダ大使館訪問	12月11日	飛鳥時代
7月25日	まとめ・試験	12月18日	飛鳥時代
前期は1授業50分、後期は90分で構成 PPTを提示し、質問に対してはパソコン画面で返答するコミュニケーションにより行った。		12月25日	奈良時代・和歌
		1月8日	奈良時代・仏像
		1月15日	奈良時代
		1月22日	まとめ・試験

<p>法定外シャローム大学講義</p> <p>中国</p>  <p>引地 達也 ひきちたつや</p>	<h1>中国 ちゅうごく</h1>
 <p>1</p>	 <p>2</p>
 <p>3</p>	 <p>4</p>
 <p>5</p>	 <p>6</p>



9



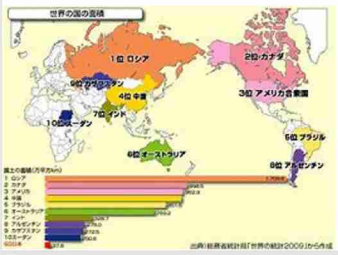
10



11

中国は大きい

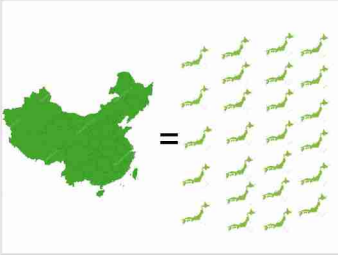
12



13

中国 9,596,960km²
 日本 377,914km²
 日本の約25倍

14



15

中国は歴史(れきし)が古い

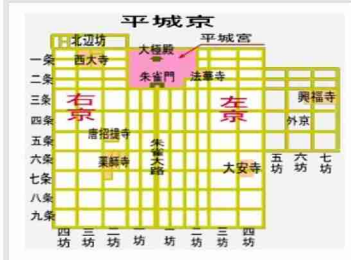
16



25

長安(ちょうあん)を
モデルにした
平城京
(へいじょうきょう)

26



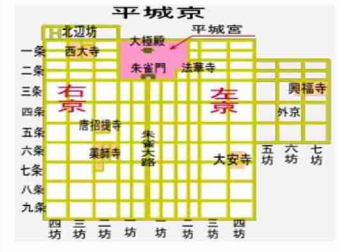
27

平城京は長安城の
半分

28



29



30

中国は人が多い

31

世界の将来推計人口 国別ランキングと推移 (2013年~2050年~2100年)

国名	2013年		2050年		2100年	
	国名	人口 Population	国名	人口 Population	国名	人口 Population
1	中国	1,395,566,917	インド	1,520,705,620	インド	2,282,843,370
2	インド	1,284,938,399	中国	1,384,943,438	中国	1,399,831,060
3	アメリカ	309,026,716	アメリカ	410,266,240	アメリカ	371,820,884
4	ロシア	140,856,818	ロシア	140,000,840	ロシア	142,066,884
5	ブラジル	200,361,807	ブラジル	219,377,660	ブラジル	201,250,790
6	インドネシア	233,418,284	インドネシア	276,360,800	インドネシア	276,841,000
7	アメリカ	134,618,345	アメリカ	224,326,610	アメリカ	284,260,466
8	ロシア	134,248,660	ロシア	208,241,241	ロシア	262,314,113
9	ロシア	140,000,840	ロシア	139,276,620	ロシア	216,441,884
10	日本	127,448,577	日本	113,173,530	日本	104,248,582
11	韓国	50,222,580	韓国	49,607,760	韓国	49,262,000
12	フランス	66,052,674	フランス	65,266,214	フランス	64,252,466
13	アメリカ	34,430,755	アメリカ	49,847,760	アメリカ	67,759,580
14	ドイツ	81,474,730	ドイツ	71,826,214	ドイツ	63,242,614
15	ドイツ	81,248,610	ドイツ	70,968,610	ドイツ	64,242,614
16	アメリカ	60,269,210	アメリカ	70,269,210	アメリカ	70,269,210
17	韓国	51,444,180	韓国	49,272,620	韓国	47,932,884
18	日本	124,827,614	日本	100,266,210	日本	87,248,810
19	韓国	50,222,580	韓国	49,607,760	韓国	49,262,000
20	ドイツ	81,248,610	ドイツ	71,826,214	ドイツ	63,242,614

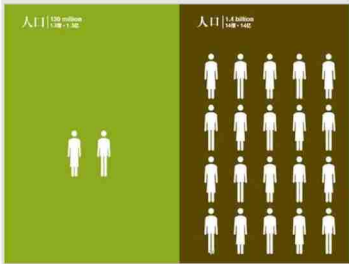
32



33



34



35

中国はおいしい

36

中国料理は
世界三大料理のひとつ

37

世界三大料理
中国料理

38



39

世界三大料理
中国料理
フランス料理

40



41

世界三大料理

中国料理
フランス料理
トルコ料理

42



43



44

中国料理

45



46



47



48



49



50

今の中国
いまのちゅうごく

51



52



53



54



55

五星紅旗
ごせいこうき

56

中国のリーダー
 習近平
 しゅう
 きんぺい



中国(ちゅうごく) と 台湾(たいわん)

57

58



正式名称

中国
 = 中華人民共和国

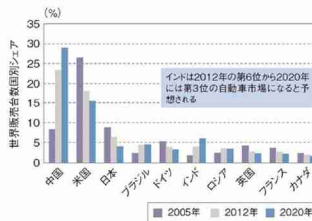


台湾
 = 中華民國



59

60



61

62

自動車の販売台数

- 1 中国
- 2 米国
- 3 インド
- 4 ブラジル

その多くが

電気自動車
 (でんきじどうしゃ)

63

64

日本の電気自動車

65

NISSAN
LEAF
リーフ



66

米国の電気自動車

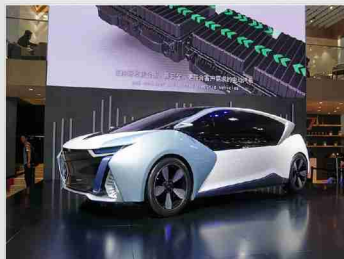
67



68

中国の電気自動車

69



70

中国が有利なこと

- 1 人が多い
- 2 民主主義ではない
=権力者がすべて決める→
反対意見なく、スピード感あり
- 3 国土が広い

71

講義「歴史」 テーマ：人類の進化

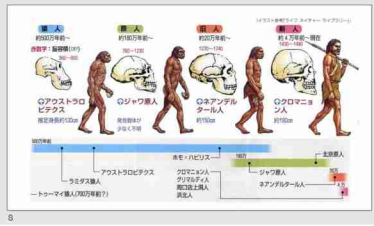
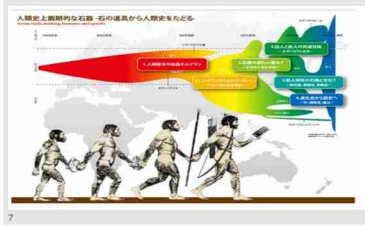
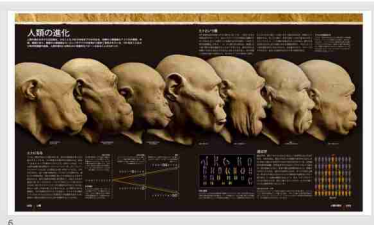
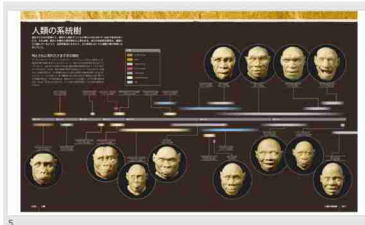
シャローム大学校講義
後期第 2 回



引用 蓮池
ひさちたつや

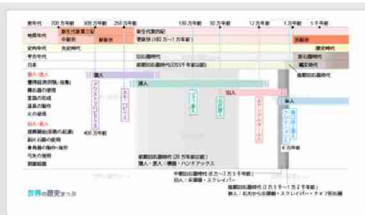
人類の進化(じんるいのしんか)
縄文時代(じょうもんじだい)
文明(ぶんめい)のおこり
豪族(ごうぞく)
古墳(こふん)
仏教(ぶつぎょう)
都市の形成(としのけいせい)
平安文化へ(へいあんぶんか)

人類の進化
じんるいのしんか





9



10

アウストラロピテクス

哺乳類霊長目(サル目)ヒト科
 絶滅の属 ぜつめつ
 化石人類 かせきでしかそんざいしない
 アフリカで生まれた初期の人類
 約400万年—約200万年

11

アウストラロピテクス

身長は120 - 140センチメートル
 脳は現在人の約35%の500ミリリットル
 =チンパンジーと同じ
 骨格から二足歩行で直立して、歩く能力を持つ
 石器はほとんど作っていない
 食料は植物、小動物の狩猟、肉食獣の食べ残し

12

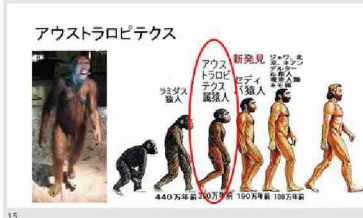
アウストラロピテクス

人類の理由
 → 二足歩行していた
 二本の足で立っていた

13



14



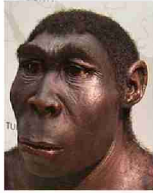
15

ホモ・ハビリス

240万年前—140万年前
 「器用な人」
 初期のヒト属
 身長は大きくても135センチ、長い腕
 脳は現代人の半分

16

ホモ・ハビリス

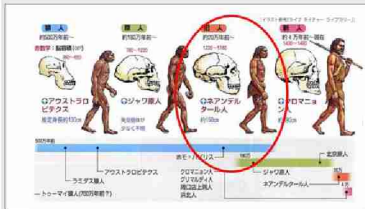


17

ホモ・ハビリス



18



19

ネアンデルタール人

- 成人の平均身長約 155cm
- 脳蓋骨は白人種より大きい
- ドイツのネアンデル渓谷から初めて発見
- 槍先などの石器をつかった
- 埋葬を行うなど、高い精神性を示す証拠が見える

20

ネアンデルタール人

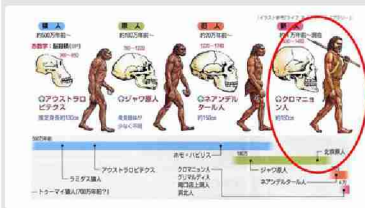


21

ネアンデルタール人の埋葬



22



23

クロマニオン人

- 欧州に約4万年前以降に住んでいた新人
- 現代の欧州人の直接の祖先
- 頭や体の構造はやや頑丈。男性は身長は175cmほど、体重は70kgほど
- 後期旧石器時代の石刃技法
- 精密な石器を作り、洞窟壁画などの芸術を発達

24

クロマニヨン人



25

クロマニヨン人



26

クロマニヨン人の生活 ラスコーの壁画



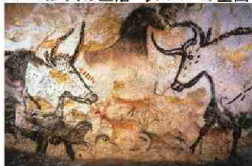
27

クロマニヨン人の生活 ラスコーの壁画



28

クロマニヨン人の生活 ラスコーの壁画



29

次のうち古い順番に並びかえよう

- ネアンデルタール人
- アウストラロピテクス
- クロマニヨン人
- ホモ・ハビリス

30

9-3 まとめ

今回モデルになった4人はそれぞれ強い学びへの思いがあり、担当者もそれに応えるために自分の時間を捻出し対応している状況である。増田厚子さんの英語学習で使うタブレットや学習教材、ミシンやその材料はすべて学習担当者の阿部さんの好意によるもので成り立っている。ほかの先生方も同様であり、やはり医療ケアの一部として、もしくは生涯学習を受けられる権利として何らかの枠組みや制度、助成が必要ではないかと思われる。

そのうえで学習プログラムに関しては、行えば行うだけのカリキュラムやノウハウは蓄積していく様子が確認できたことから、この蓄積したカリキュラムを展開するために次年度以降は研究の成果を横に展開することも同時に考え、実践していく必要があるだろう。

今回では、「英語」「創作」「歴史」「化学」「文学」「インターネット発信」「音楽」「国際」「家庭科」などの分野でのコンテンツが研究開発されたことは大きな収穫である。